建築人

2022
5

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter “Kenchiku-Jin” No.695

70th ANNIVERSARY

大阪府建築士会70周年記念号

1950 年
昭和 25 年
◎'52 年：大阪府建築士会創立
'52 年：日本建築士連合会発足・近畿建築士協議会発足
'50 年：建築基準法、建築士法公布
'52 年 初代会長：渡邊節
'52 年：会報発行（不定期）
'54年:大阪建築コンクールの実施
1960 年
'57年:社団法人に改組
昭和 35 年
'60 年：第 5 回建築士会
「大阪大会」
'64年:「ひろば」発行（月間）
'66年:渡辺節基金の創設
'67年 第二代会長:小河吉之助
1970 年
昭和 45 年
'70 年：万博建築祭（大阪）
'70 年：日本万国博覧会（大阪万博）
'76年:「ひろば」付録
「建築人」発行
'77年:ひろば作品賞創設
1980 年
'79 年：建設省告示 1206 号
昭和 55 年
'81年:大阪都市景観建築賞の実施
'83年:白石登喜男基金の創設
'83年 第三代会長:小西 岬
'83年:大阪都市景観建築賞の
愛称「大阪まちなみ賞」採択
'85 年：建築設備技術者制度告示
'86年:記念事業基金の創設
1990 年
'87 年：建築士の日制定
平成 2 年
'95年 第四代会長:白石静二
'95 年：阪神・淡路大震災
2000 年
'99 年：四会連合協定建築設計
・監理業務委託契約約款制定
平成 12 年
'00年 第五代会長:宮﨑八郎
'02年:会員基金の創設
'05 年：姉歯事件発覚
'05年「HIROBA」廃刊
'05年「建築人」会報誌化
'07 年：改正建築基準法施行
'08年 第六代会長:栁川陽文
'08 年：改正建築士法施行
'09年:建築人賞創設
2010 年
平成 22 年
'11 年：第 54 回建築士会
「大阪大会」（中止）
'11 年：東日本大震災
'12年 第七代会長:岡本森廣
'13年:公益社団法人に移行
'14年:尾亀清四郎百寿記念基金の創設
'18 年：大阪府北部地震
2020 年
令和 2 年
'21年:近畿学生住宅大賞の創設
（近畿建築士会協議会主催）
◎'22年：大阪府建築士会70周年
'25 年：建築士会「大阪大会」
'25 年：大阪・関西万博

建築人

2022.05 No.695
Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

2 70周年記念特集
特集① 藤本壮介 30年後を語る
特集② 香山壽夫の建築観
特集③ The Osaka story of my Life
大阪府建築士会の歩み
建築人賞 ―2011年～2020年―
70周年記念 ―協賛企業・団体―

21 創立70周年記念シンポジウム

22 大阪ここちエエ

24 Gallery 建築作品紹介
「新大阪第2NKビル」
設計：大林組大阪本店一級建築士事務所
施工：大林組

「大阪府医師協同組合 南館」
設計：大成建設関西支店一級建築士事務所
施工：大成建設関西支店

「フローレス都島Ⅰ」
設計：置塩淳夫建築設計事務所
施工：林建設

「LINNAS Kanazawa」
設計：Kd plus archi.Lab.＋イワクラ
施工：イーデザイン

28 動静レポート

29 Topics

30 インフォメーション・事業案内

32 記憶の建築
「木村産業研究所」1932年
90年の時を刻んだ白亜の新建築 / 松隈 洋

建築人 No.695 2022年5月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部
部門長：飯田英二
委員長：荻窪伸彦（編集人代表）
編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂籠一之
大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章
武藤優哉 若江直生
事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

表紙1・特集デザイン 北村ひとみ

表紙4デザイン 小林正樹／Sift GRAPHICS

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和4年5月1日発行
発行人：会長／岡本森廣
発行所：公益社団法人大阪府建築士会
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F
tel. 06-6947-1961

70 YEARS

公益社団法人大阪府建築士会

70周年記念 特集

公益社団法人大阪府建築士会
会長 岡本 森廣

70周記念に接して
「新たなスタートに向けて」

本会創立70周年を会員の皆様と共に喜びたいと思います。

公益社団法人の本会が70周年を迎えるにあたり、ひとえに会員の皆様と市民の深いご理解ご支援、さらには大阪府をはじめとする行政庁、友好団体、協定関係の大阪弁護士会や不動産団体、ならびに釜山廣域市建築士會等の連携に支えられてなせたものであり、感謝で一杯です。

当然に歴代会長や役員委員および事務局によってなされた公益活動の積み重ねが今に繋がり、その長い歴史と伝統が建築士会ブランドを一層強化して参りました。

1992年の40周年はバブル崩壊による不況の深刻化、2002年の50周年はデフレ不況とアメリカ同時多発テロで世界中が震撼し、2012年の60周年は東日本大震災による全国大会「大阪大会」の苦渋の断念、本年の70周年は新型コロナ禍かつ世界では戦渦が勃発しております。ここには社会とともに建築士・会の役割が変貌を遂げ成長と発展の歴史があります。

本会はいま、電子建築士会（DX宣言）を目指し、活動指針にSDGsを掲げ、従来の運営意識や事業形態・組織の変革に取り組み、本会の活動成果が市民から‘建築士会の会員なら安心・安全’と頼れるブランド化を進めて参ります。2025年に迎える全国大会「大阪大会」や大阪・関西万博のビッグイベントにこの成果を実らせていきましょう！

「人と人との関係性・プロセスをデザインする」ことに磨きを掛けていくために、会員の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

© David Vintiner

特集① 誌上インタビュー 藤本壮介 30年後を語る

「都市と建築とランドスケープが溶け合った、新しい“場”が生まれていると思います」

－ 創立70年を迎える大阪府建築士会に対して一言お願いします。

創立70年おめでとうございます。

70年という時間は、とても大きな積み重ねだと思います。すべての瞬間に、それぞれの思いを持った方々がいてこそ、70年にわたって継続されたのに違いありません。これからも建築と社会とがより良くなるよう、私たち一人ひとりが意志を持って活動を続けていくことができればと思います。

－ 大阪、関西に関するご印象は？

万博に携わるようになって、大阪、関西に足繁く通うようになり、また大阪、関西の方々とお会いする機会が増えました。大阪、関西は、何よりも、人と人のつながりを大切にされているという印象があります。何かをやっていこうという時に、仕組みで組織を動かすのではなく、人と人の信頼によって、思いを継いでいくことで、皆が自分達のこととして積極的に参加していく、そんな温かさと頼もしさを感じております。そのような皆さんの思いと信頼に応えられるように、と個々人がさらに頑張って、それがまた信頼と勢いを生んでいく。そんな大阪、関西の方々の気質は、万博という巨大イベントを、人の顔が見える形で実現するのにまさに向いていると実感しています。

－ 2025大阪・関西万博の会場デザインプロデューサーのオファーを受けた時のご感想は？

まず初めに思い浮かべたのは、1970年の万博のことでした。僕が生まれる前の万博ですが、その素晴らしさ、圧倒的な感覚は、皆さんのお話を聞く中で体感していました。1970年と2025年は時代背景は変化していますが、それでも皆さんの記憶に残るような万博にしていきたい

藤本壮介（ふじもと　そうすけ） 株式会社藤本壮介建築設計事務所 代表取締役

東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・ブラン）に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、2019年、津田塾大学小平キャンパスマスタープラン策定業務のマスターアーキテクトに選定、2020年、2025 日本国際博覧会の協会事務局会場デザインプロデューサーに就任。2021年には大分空港海上アクセス旅客ターミナル建設工事基本・実施設計業務最優秀者、また飛騨高山大学（仮称）本校キャンパスの設計者に選定される。
主な作品に、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン2013 (2013年)、House NA (2011年)、武蔵野美術大学 美術館・図書館 (2010年)、House N (2008年) 等がある。

と、思いを強くすると同時に、その責任を実感しました。

これからの時代は、デジタル技術によって世界が一瞬で繋がる一方で、分断が加速しているようにも見えます。そのような状況で、それでも万博という形で世界が一つに繋がることの意味を、深く考えさせられております。多様な世界が、多様性を響き合わせて繋がる風景を作ることができればと思います。

－ ご自身の設計に対するお考えをお教えください。

北海道で生まれ育ったこともあり、自然と人工物の共存と融合を、常に考えてきました。この多様性の時代にあって、それは新しい森のようなものなのではないかと感じています。自然の森というのは、多様なものたちが調和しながら共生する場所です。人間の住む都市環境においても、人工と自然が溶け合う中で、新しい森のような場所を作ることはできないでしょうか？　そこではさまざまな活動や文化、多様なスケールが共存し、異なる個性ゆえに響き合うことができ、それが豊かな発想や意外な活動につながっていく。さらに周辺環境へと開いていくことで、建築とコンテクストが共鳴し合うことにもなるでしょう。そんな開かれた未来の森、人工と自然が溶け合う、多様性の響き合う森のような場所を作りたいと考えています。

－ 最近の建築界へのデジタル化についてどのように思われていますか？

僕の事務所も、CADや3Dモデリング、BIM、3Dプリンティング、VRなどさまざまなデジタル技術を使っています。僕自身はipadで常にスタッフとやりとりしてipad上でスケッチやコメントを描いてslackでやり取りしています。この方向はさらに加速していくことになるでしょう。

設計だけではなく建設やシミュレーション、さまざまなものが情報によって連動していくことで、設計はよりたくさんの情報を統合し、その中から新しい発想が生まれてくるはずです。

また実空間と情報空間の連動も、ますます加速していくことになるでしょう。僕自身は、そのような新しい技術によって開かれる可能性に、常にオープンでありたいと考えています。そして、それらの新しい技術によって得られたアイデアや知見を、最後は何千年前と変わらず「人間のための場所」として空間に落とし込んでいくことになる、そこは変わらないのだろうと考えています。

－ 30年後の設計業界、設計スタイルはどのようになっていると思われますか？

30年後には、AIも日々の設計活動の中にすでに当たり前に取り入れられているかもしれません。設計と建設の連携もシームレスになっている可能性が高いです。鉄、ガラス、コンクリート、木に代わる、新しい建築材料が開発されているかもしれません。そうすると建設プロセス自体もガラッと変わっているかもしれません。

それらの変化によって結果的には、より一層、コンセプト、構想、ビジョンが重要になってくるでしょう。異分野とのコラボレーションによって、より広い知見で「人々のための場所をどう作るか」が構想されるようになるかもしれません。技術が進めば進むほど、根源に遡っていくのではないかと思います。

－ 30年後の世の中の様子はどのようになっていると思われますか？

30年後というと、2050年ごろですね。僕が考える未来の建築は、都市と建築とランドスケープが溶け合った、新しい“場”が生まれていると思います。内部と外部、道と建物、異なるプログラムなどが、もっと有機的に溶け合って、その間にさまざまな余剰の空間が生まれて、人々の選択肢を増やしてくれるような場所です。今までのように、敷地の中だけを設計するのではなく、敷地の内外を横断しながら、どう豊かな場所を人間のために作っていけばいいのか。結果として、都市は、建築は、森のようなものになっていくと思います。もしかすると、大阪も、緑に覆われた場所になっているかもしれません。その緑の下に、道とも街とも建築とも部屋とも地形ともつかないような、それらが溶け合った不思議な風景が広がっているかもしれません。

Ⓒ Iwan Baan

フランス南部 モンペリエの新しいレジデンシャルタワー「L'Arbre Blanc」（フランス語で「白い木」）が2019年に竣工した。

特集②　香山壽夫の建築観

「建築は、人と人をつなぐ、社会の言葉 ―美しく、大切に作りたい―」

公益社団法人大阪府建築士会創立70周年にあたり、心からお祝い申し上げます。

悪疫ウイルスの、世界的流行によって、外出制限・会合制限が、こんなに長く続きますと、改めて、日常の当たり前だったことの大切さが、身に染みてよくわかります。その日常の当たり前とは、人と直接出会い、共に語り合い、仕事をする、ということです。そして、さらに、改めて、気がつくのは、この日常の当たり前である、人と人が共に居られる空間、人と人を結びつける場所を作ることが、建築を作るという仕事の本質であるということです。

近頃盛んに論じられているように、情報技術、IT・AIの発展が、人間社会を変えることは、確かにあるでしょう。しかし、そうだとしても、それらが建築の本質的な働きに、とって変わることはできません。いやむしろITが発展すればする程、建築を作ることの大切さ、建築でしかできないことの重要さは、強く求められることになります。そのことを、もう一度改めて、しっかりと考えてみたいと思います。

香山壽夫（こうやま　ひさお）　東京大学 名誉教授 / 香山建築研究所 会長

1937年　東京都生まれ、満州、新京市で育つ　1960年　東京大学工学部建築学科卒業　1965年　ペンシルバニア大学大学院修了
1965～68年　アメリカ、イギリスで設計に従事　1968～71年　九州芸術工科大学助教授　1971～86年　東京大学工学部助教授
1972年　設計組織香山アトリエ設立（後に香山建築研究所と改称）　1982年　ペンシルバニア大学客員教授　1986～97年　東京大学工学部教授
1996年　アメリカ建築家協会　名誉会員（FAIA）　1997年～2002年　明治大学理工学部教授　2002年～2007年　放送大学教授

1. 建築の仕事とは、何なのでしょうか。

雨風から守る、敵を防ぐ等々、昔から建築には、いろいろな働き、役割がありましたが、今改めて、建築が果たさなければならない、一番大切な役割は、人と人をつなぎ、ひとつに結びつける働きです。雨風から守る、それも勿論大切でしょうが、今日の技術では、そのことは昔ほど難しいことではありません。しかし人と人を結びつけ、共に生きる社会を作ることは、今日のように移動が激しく、変化の速い時代には、ますます困難になっています。

言葉が私達を互いに結びつけていると同じく、私達が毎日暮している建物や町は、私達を一つに結びつけている大切な、かけがえのない働きをしているものです。そうであるからこそ、私達は長年なじんだ建物が壊され住む町の町並みが消えていくことを悲しむのです。私達は、建築や町を作り育てるだけでなく、それらによって育てられ守られているのです。言葉を大切にしなくてはいけないように、私達が建築を大切に守り、作っていかねばならないのはそれゆえです。

2. 場所・地域の大切さとは、何でしょうか。

私達の話す言葉が、それぞれの国、あるいは場所・地域で、長い年月を経て形成されたものであるように、建築や都市も、一朝一夕に出来上がったものではなく、長い長い時間の中で育ってきたものです。それぞれの言葉が、それぞれの文化の特質の基盤であると同じく、建築や都市という「かたちの言葉」も私達の文化の特質、その豊かさ・楽しさを作り出す基本です。

私自身の記憶をたどってみても、私達の国日本は、1960年代までは、各地にそれぞれの特色ある都市、町や村があり、そこで育ったそれぞれの文化の集積した国、でありました。それは長い歴史の中で育ち、近くは江戸の三百年から続く近代の歴史の中でも育ち、形成されてきたものです。ハーバード大学教授の日本文化研究者、ライシャワー博士が、日本の国内地域文化の多様性こそが、日本文化の特色であり、日本の近代化を成功させた基本だと述べています。しかし、残念なことに、戦後の日本経済の成長と共に、この日本文化の多様性は弱まり、東京を中心とする、均一な文化が、薄っぺらく、日本全体を覆うようになってしまって、今日に至っています。ライシャワーの言うように、多様性が日本文化の基盤であるのならば、均質性に支配された今日の日本には、未来はないことになります。これで、果していいのでしょうか。

しかし、まったく希望が消えたわけではありません。私も一人の建築家として、日本各地で仕事をする度に、必ず言われることは、「私達の町並みを大切にしてください」という言葉です。あるいはさらに、「今流行のただ珍奇な建物は作らないでください」という意見です。私達、一人ひとりの建築家が、こういう言葉に耳を傾け、誠実に一つひとつの建物を作っていくことができれば、もう一度私達の住む町は、それぞれの美しさ、落ち着き、楽しさ、を取り戻していけるでしょう。今こそ、そのことが私建築家に求められているのではないでしょうか。

3. これからの建築に求められることは、何でしょうか。

建築という芸術・技術は、私達皆の、毎日の生活の中で、生きているものです。美術館の展示室の中、あるいは劇場の舞台の上のみで成立している芸術ではありません。私達一人ひとりの生活がそうであるように、建築も、沢山の慣習・約束事・伝統に支えられて生きているものです。建築の設計とは、そうした、過去から今に続く、無数の秩序を大切にしながら、今日の必要、願いに応えていく仕事です。

すべての生き物に、変化が必要なように、人間も変化を求めます。しかしそれは、あくまで、連続性を尊重した上での変化です。急激な変化は、生命そのものを断ち切ることになります。近代のモダニズム建築は、「変化」、「変革」を求めるあまり、過去より続く、良き伝統、大切な秩序を、破壊し続けてきました。

今こそもう一度、連続の中に変化を、そして変化によって連続を、新たにとらえ直すことが求められている時だと思います。

大阪万博を迎える大阪が、こうした今日の建築・都市の大問題に、一つの答えを示してくれるものとなって欲しいと願います。

下図：関川村歴史資料館スタディ立面図
（鉛筆とパステル、50cm × 150cm）. 1994 年

特集③ The Osaka story of my Life

2025 年日本国際博覧会協会副事務総長
（前 大阪府副知事）
竹内 廣行 氏

大阪・関西万博会場イメージ

大阪の気風と大阪・関西万博

大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月から半年間、大阪の夢洲で開催されます。歴史的にアジアの窓口であった瀬戸内海につながる大規模博覧会としては初の「海の上の万博」です。

大阪には70年万博や千里ニュータウン、私も関わった関西空港や流域下水道、連続立体交差事業など、全国初の事業や制度に取り組んだ進取の気風があります。その流れも汲んで大阪・関西万博では「未来社会の実験場」のコンセプトのもと、テーマの実現やSDGsの達成「Society　5.0」実現に向けた実証を行います。

開催まで3年を切り、出展国や企業等のパビリオンや大屋根（リング）をはじめとする協会整備施設の建設がこれから一気加速します。デザイン性、機能性、ユニバーサルデザイン等に配慮した魅力的な会場整備を進めます。さらに、閉会後は施設のリユース・リサイクルにより、万博のレガシーが後世に引き継がれるよう取り組みを進めます。

万博会場の小規模施設を設計する熱意ある若手建築家の公募では、貴会にご協力いただき大変感謝しています。大阪の建築文化の振興に貢献され70周年を迎えられた貴会の今後、ますますのご発展を心から祈念いたします。

大阪公立大学大学院工学研究科
教授
倉方 俊輔 氏

子ども向けの建築書『はじめての建築』

世界とつながり、新機軸が生まれる大阪

大阪・関西万博が開催される2025年は、日本の建築界を代表する雑誌『新建築』が大阪で創刊されて100年の節目にあたります。当時の大阪は、日本は、世界はどのようなものだったのでしょうか？　過去を検証しながら、未来を考えるための連載「関西モダニズム－住宅・建築・都市－」を今年1月から、京都工芸繊維大学名誉教授の石田潤一郎先生と共に『新建築』で隔月でスタートさせました。そこに見られるのは、決して内向きではない、世界に通じる論理のある大阪であり、複数の文化が交差する関西の豊かさです。

また、建築と市民をつなげるイベントとして近年、世界各地で実施されている「オープンハウス」（建築の一斉公開イベント）が日本で最初に定着したのが大阪で、2013年に開始した「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」（イケフェス大阪）は2017年の日本建築学会賞（業績）を受賞するなどの定着を見せて、今年秋には京都でも同種の試みを行うべく、変奏の仕方を考えています。

建築には過去を伝えて、未来を考えさせる価値もあります。世界とつながり、新機軸が生まれる大阪において、その起点を構築している大阪府建築士会の70周年を祝福し、ますますのご発展を心より祈念いたします。

歌舞伎俳優

中村 翫政 氏

松竹座

上方文化と劇場

私は大阪を由縁とする中村鴈治郎一門として、上方歌舞伎を修業、研鑽し継承することを目標として活動させていただいております。上方歌舞伎をはじめとして、文楽といわれる人形浄瑠璃、上方落語、能や狂言、近年ではOSK日本歌劇団など、上方ならではの伝統芸能、文化が数多くございます。古くは大阪には「道頓堀五座」と呼ばれる劇場がございました。道頓堀に歌舞伎をメインとしたさまざまな公演が催される劇場がそれだけあり、大阪の人々も娯楽として上方文化に触れる機会が多かったのです。

その後時代の移り変わりと共に劇場は減り、今大阪では難波の松竹座がその役目を一身に担っております。松竹座は1923年に関西初の洋式劇場として誕生し、現在に至るまでその姿を残しており、我々上方歌舞伎役者としましても、ホームグラウンドでございます。どれだけ役者が頑張っても劇場がなくては皆様にお目にかかることは難しいです。2019年には私の地元堺市に「フェニーチェ堺」が完成し、その柿落とし公演にも出演させていただきました。今後より一層皆様に上方文化を知っていただき、愛していただけるよう、さらに劇場が増えて行けば、私共にとりましてこんなに嬉しい事はございません。こうした建築に携わってくださっている大阪府建築士会の皆様が70周年を迎えられ、大変におめでたい事とお祝い申し上げます。そしてこの先80周年、90周年も上方文化の発展、継承が、大阪ならではのさまざまな建築物と共にありますように祈念いたしております。

ライティングデザイナー
株式会社 LEM 空間工房 代表

長町 志穂 氏

天神橋らせんスロープライトアップ
（水都大阪パートナーズ事業、照明:LEM 空間工房）

公民連携で未来の扉を開く大阪のまちづくり

今、世界中でまちは変わろうとしています。大阪でも御堂筋や難波駅前をはじめとした公共空間の再編がすすめられており、さまざまな社会実験も行われています。住む人働く人の意見を取り入れ完成後の使いこなしを前提とした、民間と行政が連携しながらの公共空間整備と中間組織の造成は、これまで以上に魅力的で活力ある「大阪のまち」の出現を期待させます。

私の専門分野である夜間景観も、そういったまちのアップデートの鍵となります。大阪では中之島を中心に橋梁のライトアップなど河川空間の夜間景観整備がいち早く進んできましたが、公共空間全般で見ると、まだまだ世界の他都市に比べて「夜も美しくそぞろ歩きが楽しいまち」とはいえません。場所性を感じさせる街路のあかり、歴史的な建造物やランドマークの光の演出、美しい現代建築のファサード照明、飲食店や屋台の漏れ光など、良質な公共照明と多様で心をかきたてる民間照明で構成される「大阪ならではの夜間景観」への進化が望まれます。

大阪・関西万博を目前とし、さまざまな建築プロジェクトが活況かと思います。70周年を迎えられる貴会の皆様によって、大阪の都市魅力がさらに素晴らしいものとなることを期待してやみません。

大阪府建築士会の歩み

歴代

初代会長（1952-1966）

渡邊　節

第二代会長（1967-1982）

小河吉之助

第三代会長（1983-1994）

小西　岬

第四代会長（1995-1999）

白石静二

第五代会長（2000-2007）

宮﨑八郎

第六代会長（2008-2011）

柳川陽文

現職

第七代会長（2012-）

岡本森廣

本会小史

1952年	3月	29日	設立総会
1952年	6月	1日	近畿建築士会協議会の発足
1954年	11月		大阪建築コンクールの実施
1957年	5月	2日	都道府県建築士会の法制化
	12月	16日	社団法人に改組
1960年	11月	7日	第5回建築士会全国大会「大阪大会」の開催
1967年	7月	15日	建築士事務所部会の設立
1970年	7月	23日	万博建築祭の開催
1976年	3月	16日	建築士事務所部会の解散
	4月	1日	大阪建築士事務所協会の発足
1981年	12月		大阪都市景観建築賞の実施
1986年	11月	11日	大韓建築士協会釜山直轄市支部と交流覚書
1995年	1月	20日	阪神・淡路大震災の災害対策本部の設置
2005年	4月	1日	「建築人」の会報誌化（HIROBAの廃刊）
2011年	8月	20日	第54回建築士会全国大会「大阪大会」東日本大震災（3/11）のため中止
2013年	4月	1日	公益社団法人に移行

2012.4～2013.3（平成24年度）

・岡本森廣新会長の就任
・耐震部会の設置
・応急危険度判定連絡網の構築
・大阪府公募プロポーザルに建築士会 CPD の採用

2013.4～2014.3（平成25年度）

・公益法人改革に伴う社団法人から公益社団法人へ移行
・理事および監事候補者推薦委員会の設置
・建築物耐震評価業務の開始
・優良卒業生表彰式制度の創設

2013～2022

・会長ならびに役員・委員による府内43市町村の首長等と面談
（2021はコロナ禍により中止）

2014.4～2015.3（平成26年度）

・岡本会長が日本建築士会連合会副会長に就任
・尾亀名誉顧問の寄附による「尾亀清四郎百寿記念基金」の創設
・インスペクション部会およびヘリテージ部会の発足

2015.4～2016.3（平成27年度）

・本会ビジョン策定答申書（建築からソーシャルデザインへ）
・枚方市と避難所における応急危険度判定に関する協定の締結
・香港工業総会・日本建築材料協会・本会と3者の相互協力に関する覚書の締結
・長野県建築士会と NHK 大河ドラマ「真田丸」を契機とした交流開始

2016.4～2017.3（平成28年度）

・大阪弁護士会と相互協力に関する協定の締結
・槇文彦氏「展覧会及び講演会」の実施

2017.4～2018.3（平成29年度）

・インスペクションおよび既存住宅瑕疵保険検査機関登録のための建築士事務所の登録
・インスペクション活動に係る大阪府不動産鑑定士協会、全日本不動産協会大阪府本部、大阪府宅地建物取引業協会と本会の相互協力に関する覚書の締結
・大阪急性期・医療センターとの応急危険度判定に関する協定の締結
・貝塚市と大規模災害時における住家の被害認定調査に関する基本協定の締結

2018.4～2019.3（平成30年度）

・大阪北部地震の支援活動
・貝塚市と空家等対策に関する協定の締結
・大阪府より景観法第92条第1項に基づく景観整備機構の指定

2019.4～2020.3（19.4平成31年度、19.5～令和元年度）

・大阪市と分譲マンションに関わるアドバイザーの派遣に関する協定の締結
・中国上海市建築学会と交流促進についての確認書の締結
・茨木市から大阪北部地震の災害復旧および被災者支援の活動に対する感謝状を拝受

2020.4～2021.3（令和2年度）

・新型コロナウイルス感染防止対策に伴う本会活動の方針策定
・柏原市と大地震時における避難所の応急危険度判定に関する協定の締結
・東大阪市消防局と消防法違反の是正および未然防止に向けた連携協定の締結
・藤井寺市と安全で安心して快適に暮らせる住環境の整備に関する協定の締結

2021.4～2022.3（令和3年度）

・大阪市と建替に関わるアドバイザーの派遣に関する協定の締結
・内山鑑定事務所と大規模災害時における基本協定の締結
・近畿学生住宅大賞の創設（近畿建築士会協議会 主催、本会主管）
・2025年日本博覧会協会との事業連携協定

■ 会員数の推移

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
正会員	3,001	2,811	2,681	2,622	2,522	2,519	2,453	2,377	2,356	2,331
準会員	39	36	39	32	32	32	30	39	37	36
特別準会員	32	31	31	30	28	26	27	26	27	26
賛助会員	113	117	120	129	130	129	128	138	138	139

■ 建築士の登録者数

年		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
一級	大阪	29,860	30,210	30,498	30,821	以降は、都道府県別の公表なし					
	全国	348,059	352,168	355,921	360,003	363,232	366,755	369,849	373,490	371,184	373,022
二級	大阪	54,530	54,961	55,316	55,734	56,043	56,464	56,885	57,332	57,683	58,152
	全国	737,486	742,667	746,281	752,251	756,808	761,558	766,446	771,246	775,032	779,810
木造	大阪	518	537	550	571	586	603	633	654	681	702
	全国	16,982	17,188	17,321	17,534	17,663	17,825	17,986	18,133	18,364	18,405

■ 収支一覧

単位：千円

年度		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
収益	会費	64,636	61,317	58,415	56,427	55,030	54,187	53,709	52,187	53,047	52,735
	事業	103,312	86,157	105,198	116,776	112,779	115,874	138,845	107,438	107,649	120,994
	寄附	0	100	5,800	0	0	400	0	520	2,000	1,000
	雑収	6,229	2,425	809	11,538	9,388	960	1,089	1,448	1,285	1,141
費用	事業	106,816	145,135	162,179	168,063	156,601	160,578	183,243	146,935	149,039	163,015
	管理	51,354	2,673	2,616	2,852	2,702	2,816	2,986	13,472	12,593	13,350
経常増減額		0	2,191	5,426	3,452	9,444	8,028	7,414	1,187	2,354	△ 494

■ 受賞者一覧

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
叙勲									岡本森廣	
黄綬褒章	柳川陽文			岡本森廣				稲葉繁夫 田中義久	上田茂久	徳岡浩二 濱田　徹
大臣表彰	田中義久		上田茂久				山本尚子	徳岡浩二	濱田　徹	芳村隆史
知事表彰	井上まるみ 徳岡浩二 中務治三	橋本善治	山口良紘	山本尚子	芳村隆史	森田茂夫 山城健児	大附一彦	田中克之 辻井光憲	石貫方子 岡﨑　雅	竹田敦子 黒川宗範
連合会表彰	大附一彦 岩田純一 辻井光憲 田中克之	石貫方子 山地康夫 今井俊夫 萬川幹夫	横関正人 米井　寛 竹田敦子	阿部弘明 西田多美子 林寄法子	七堂元敏 藤田　忍 昇　　勇	濱田　徹 飯田英二 黒川宗範	横田友行 大野治代 熊田將男 田代加奈	北野幹夫 中島　薫 津村泰夫 西野智子	相原康隆 曽我部千鶴美 松村和吉 上田仁美	沼田　亘 仙入　洋 平井浩之 岩岸克浩
伝統					佐々木猛	塩田佳男	山本省次郎	橋本松男	砂田憲良	鳥羽瀬公二

■ 歴代役員

年度	2012 (平成24年)	2013 (平成25年)	2014 (平成26年)	2015 (平成27年)	2016 (平成28年)	2017 (平成29年)	2018 (平成30年)	2019 (令和元年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)
名誉会長	白石靜二 宮崎八郎 柳川陽文	白石靜二 宮崎八郎 柳川陽文	白石靜二 宮崎八郎 柳川陽文	白石靜二 宮崎八郎 柳川陽文	白石靜二 宮崎八郎 柳川陽文	白石靜二 宮崎八郎 柳川陽文	宮崎八郎 柳川陽文	宮崎八郎 柳川陽文	宮崎八郎 柳川陽文	宮崎八郎　宮崎建築設計事務所長 柳川陽文　㈱小河建築設計事務所専務取締役設計技術総括
名誉顧問		尾崎清四郎	尾崎清四郎							
顧問	森下嘉弘 水田志郎 尾亀清四郎 小河一眞佐 近江巳記夫 鈴木和夫 溝神宏至朗 荒井　清 池田恵次 澤本侃一郎 松村慶三 米倉信太郎 白波瀬道隆 門川清行 指田孝太郎	溝神宏至朗 池田恵次 澤本侃一郎 米倉信太郎	溝神宏至朗 池田恵次 澤本侃一郎 米倉信太郎 西　邦弘	溝神宏至朗 池田恵次 澤本侃一郎 米倉信太郎 西　邦弘	溝神宏至朗 池田恵次 澤本侃一郎 米倉信太郎 西　邦弘	溝神宏至朗 池田恵次 澤本侃一郎 米倉信太郎 西　邦弘	溝神宏至朗 池田恵次 澤本侃一郎 米倉信太郎 西　邦弘	溝神宏至朗 池田恵次 澤本侃一郎 米倉信太郎 西　邦弘	池田恵次 澤本侃一郎 西　邦弘 中　伊佐男	池田恵次　工房アローン主宰 澤本侃一郎　㈱K＆S総合企画代表取締役 西　邦弘　㈱キンキ総合設計代表取締役 中　伊佐男　—
			特任顧問	中　伊佐男	中　伊佐男	中　伊佐男	中　伊佐男	中　伊佐男 寺地洋之	寺地洋之	寺地洋之　大阪工業大学工学部建築学科教授 杉原　繁　—
			技術顧問	倉本　洋	倉本　洋 藤田　忍	藤田　忍	上田茂久 寺地洋之			
相談役	白波瀬道隆 門川清行 指田孝太郎	門川清行 指田孝太郎 近江巳記夫 鈴木和夫 米　正弘	門川清行 指田孝太郎 近江巳記夫 鈴木和夫 米　正弘	門川清行 指田孝太郎 近江巳記夫 鈴木和夫 米　正弘	門川清行 指田孝太郎 近江巳記夫 鈴木和夫 米　正弘	門川清行 指田孝太郎 近江巳記夫 鈴木和夫 米　正弘	門川清行 指田孝太郎 近江巳記夫 鈴木和夫 米　正弘	門川清行 指田孝太郎 近江巳記夫 鈴木和夫 米　正弘	門川清行 指田孝太郎 近江巳記夫 鈴木和夫 米　正弘	門川清行　㈱竹中工務店取締役副会長 指田孝太郎　㈱日建設計取締役常務執行役員大阪代表 近江巳記夫　大阪経済法科大学客員教授元衆議院議員 鈴木和夫　大阪総合経営研究所理事長、常翔学園理事 米　正弘　㈱ピーイー設計
特任相談役					小嶋和平	小嶋和平	小嶋和平	小嶋和平 森田茂夫 山城健児 山地康夫	小嶋和平 森田茂夫 山地康夫	小嶋和平　サンヨーホームズ㈱常勤顧問 森田茂夫　アトリエ クレオ主宰 山地康夫　— 德岡浩二　㈱德岡設計代表取締役社長
会長	岡本森廣	岡本森廣	岡本森廣	岡本森廣	岡本森廣	岡本森廣	岡本森廣	岡本森廣	岡本森廣	岡本森廣　全日本コンサルタント㈱技術部監査役
副会長	上田茂久 西　邦弘 中　伊佐男 濵田　徹 田中義久	上田茂久 西　邦弘 中　伊佐男 濵田　徹 田中義久	上田茂久 中　伊佐男 濵田　徹 田中義久	上田茂久 濵田　徹 田中義久 中嶋節子	上田茂久 濵田　徹 田中義久 中嶋節子	上田茂久 濵田　徹 田中義久 中嶋節子 石貫方子	濵田　徹 田中義久 中嶋節子 石貫方子	上田茂久 濵田　徹 田中義久 中嶋節子 石貫方子	上田茂久 濵田　徹 田中義久 中嶋節子 石貫方子	上田茂久　㈱上田茂久・建築設計工房代表取締役 濵田　徹　studio GTH 主宰 田中義久　㈱田中都市建築事務所代表取締役 中嶋節子　京都大学大学院人間・環境学研究科教授 石貫方子　パナソニック㈱ハウジングシステム事業部
常任理事	伊藤治正 岡崎　雅 辻井光憲 原田　彰 山地康夫 芳村隆史	伊藤治正 岡崎　雅 田中克之 原田　彰 藤田　忍 山城健児 横田友行 米井　寛	伊藤治正 岡崎　雅 水谷　敢 横田友行 芳村隆史 米井　寛	岡崎　雅 藤田　忍 水谷　敢 山地康夫 横田友行 芳村隆史 米井　寛	飯田英二 石貫方子 德岡浩二 山地康夫 山城健児 横田友行 芳村隆史	飯田英二 田中克之 德岡浩二 山地康夫 山城健児 横田友行 芳村隆史	飯田英二 田中克之 德岡浩二 沼田　亘 山地康夫 山城健児 横田友行	飯田英二 岡崎　雅 仙入　洋 田鍋　稔 德岡浩二 沼田　亘 芳村隆史	飯田英二 岡崎　雅 仙入　洋 田中克之 德岡浩二 沼田　亘 山城健児 横田友行 芳村隆史	飯田英二　㈱ＩＭＯデザイン代表取締役 岡崎　雅　㈱アーキ・プランニング・オフィス代表取締役 仙入　洋　㈱遊墨設計代表 田中克之　Atelier AT一級建築士事務所所長 田鍋　稔　鹿島建設㈱建築設計部デジタル設計Ｇ副部長 沼田　亘　㈱昭和設計会長 山城健児　コーナン建設㈱顧問 横田友行　㈱能勢建築構造研究所代表取締役会長 芳村隆史　㈱碧－ＡＯ－建築事務所代表取締役
理事	阿部弘明 飯田英二 石貫方子 今井俊夫 大附一彦 荻窪伸彦 尾鍋裕実 北野幹夫 小谷美樹 七堂元敏 篠原祥郎 神保　勲 杉山英俊 仙入　洋 曽我部千鶴美 竹田敦子 田中克之 筑波幸一郎 德岡浩二 栃尾邦彦 西野　宏 西濵浩次 羽木みどり 橋本善治 春岡須磨子 藤原美菜子 萬川幹夫 水谷　敢 森田　勝 山口良紘 横関正人 横田友行	阿部弘明 飯田英二 石貫方子 今井俊夫 大附一彦 荻窪伸彦 尾鍋裕実 北野幹夫 小谷美樹 七堂元敏 篠原祥郎 神保　勲 杉本哲雄 杉山英俊 曽我部千鶴美 竹原麻衣 筑波幸一郎 辻井光憲 津村泰夫 德岡浩二 栃尾邦彦 中島　薫 羽木みどり 萬川幹夫 水谷　敢 宮地雄一郎 森田茂夫 森田　勝 山口良紘 山地康夫 山本尚子 横関正人	飯田英二 石貫方子 今井俊夫 大附一彦 荻窪伸彦 尾鍋裕実 北野幹夫 小谷美樹 七堂元敏 篠原祥郎 昇　勇 杉本哲雄 曽我部千鶴美 竹原麻衣 田中克之 田中光典 田鍋　稔 辻井光憲 津村泰夫 中島　薫 羽木みどり 藤田　忍 萬川幹夫 宮地雄一郎 森田茂夫 山城健児 山本尚子 横関正人	岩岸克浩 大附一彦 荻窪伸彦 尾鍋裕実 北野幹夫 熊田將男 黒川宗範 小谷美樹 七堂元敏 篠原祥郎 昇　勇 杉本哲雄 曽我部千鶴美 田中克之 田中光典 田鍋　稔 辻井光憲 津村泰夫 德岡浩二 中島　薫 羽木みどり 橋本賴幸 牧野隆義 萬川幹夫 宮地雄一郎 室木　裕 森田茂夫 守屋一之 山城健児 山本尚子	荒木公樹 岩岸克浩 大附一彦 尾鍋裕実 木村吉男 熊田將男 黒川宗範 小谷美樹 阪田晴宏 昇　勇 杉本哲雄 田代加奈 田中克之 田中光典 田鍋　稔 辻井光憲 津村泰夫 寺地洋之 中島　薫 沼田　亘 橋本賴幸 平井浩之 牧野隆義 松村和吉 室木　裕 森田茂夫 守屋一之 山添光訓 山本尚子 吉野俊一	相原康隆 荒木公樹 岩岸克浩 大附一彦 尾鍋裕実 北野幹夫 木村吉男 熊田將男 黒川宗範 小谷美樹 阪田晴宏 昇　勇 曽我部千鶴美 田代加奈 巽　泰滋 田鍋　稔 辻井光憲 寺地洋之 西野智子 沼田　亘 橋本賴幸 平井浩之 牧野隆義 松村和吉 室木　裕 森田茂夫 守屋一之 山添光訓 吉野俊一	相原康隆 荒木公樹 岩岸克浩 大附一彦 規工川和史 北野幹夫 木村吉男 熊田將男 黒川宗範 佐賀弥章 阪田晴宏 曽我部千鶴美 田代加奈 巽　泰滋 田鍋　稔 辻井光憲 津村泰夫 永井　務 中島　薫 西野智子 橋本賴幸 原田雅史 平井浩之 藤田　忍 牧野隆義 松村和吉 水谷　敢 三宅登美恵 森田茂夫 守屋一之 山添光訓 吉野俊一	相原康隆 荒木公樹 岩岸克浩 大附一彦 規工川和史 北野幹夫 熊田將男 黒川宗範 高原浩之 竹田敦子 竹田雅彦 田代加奈 巽　泰滋 津村泰夫 永井　務 中島　薫 西野智子 原田雅史 平井浩之 藤江雅文 藤田　忍 松村和吉 水谷　敢 南　勝喜 三宅登美恵 山添光訓 吉野俊一 吉村淳二	相原康隆 岩岸克浩 大附一彦 規工川和史 北野幹夫 熊田將男 黒川宗範 高原浩之 竹田敦子 竹田雅彦 田端寿美 辻井光憲 津村泰夫 所　千夏 永井　務 中島　薫 西野智子 原田雅史 春岡須磨子 平井浩之 藤江雅文 藤田　忍 水谷　敢 南　勝喜 三宅登美恵 山添光訓 吉村淳二	相原康隆　栗原工業㈱人事総務部総務課施設管理担当 兼技術統括部技術部課長 一本久次　㈱大倉大阪本社建設部 岩岸克浩　㈱イワギシ取締役 大附一彦　新建設工業㈱代表取締役 荻窪伸彦　㈱安井建築設計事務所ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾋﾞｼﾞﾈｽ部長 規工川和史　規工川建設㈱代表取締役 桑原宏明　㈱ PPI プラス代表取締役 河野　学　関西学院大学総合政策学部契約助手 小谷美樹　積水ハウス㈱ ESG 経営推進本部長 佐賀弥章　佐賀建築まち設計室代表 静　茂夫　㈱大建設計大阪事務所第1設計室長 高原浩之　㈱ＨＴＡデザイン事務所代表取締役 嶽下康弘　Studio REI 一級建築士事務所代表 竹田敦子　㈱竹田義建築取締役 竹田雅彦　㈱荻田建築事務所取締役 田代加奈　㈱環取締役 田端寿美　Ｔ－ＣＵＢＥ代表 辻井光憲　大和ハウス工業㈱建築設計部法令管理課長 津村泰夫　㈱住環境設計一級建築士事務所代表取締役 所　千夏　アトリエＣＫ代表 永井　務　㈱竹中工務店設計部設計第４部門設計第一Ｇ長 中北　力　㈱中北建築事務所専務取締役 中島　薫　ナカジマ建設㈱代表取締役 原田雅史　㈱富士建築設計事務所代表取締役 春岡須磨子　春設計室室長 平井浩之　大成建設㈱関西支店設計部長 藤江雅文　㈱藤江建築事務所代表取締役 藤田　忍　大阪市立大学名誉教授 大阪市立大学大学院生活科学研究科客員教授 南　勝喜　NAM 設計研究所代表 三宅登美恵　㈱登工務店代表取締役 山隈直人　㈱ kt 一級建築士事務所代表 関西国際大学現代社会学部総合社会学科教授
専務理事	杉原　繁	杉原　繁	杉原　繁	杉原　繁	杉原　繁	杉原　繁	杉原　繁	杉原　繁	杉原　繁	山添光訓　（公社）大阪府建築士会専務理事
						常務	中務治三	中務治三	中務治三	中務治三　（公社）大阪府建築士会常務兼事務局長
常務理事	藤田　忍 松本　章 森田茂夫 米井　寛 中務治三									
監事	吉田勝也 小嶋和平	小嶋和平 稲葉繁夫	小嶋和平 稲葉繁夫	小嶋和平 神保　勲	神保　勲 七堂元敏	神保　勲 七堂元敏	神保　勲 七堂元敏	七堂元敏 尾鍋裕実	尾鍋裕実 立神靖久	尾鍋裕実　尾鍋建築設計事務所代表 七堂元敏　—

建築人賞
−2011年〜2020年−

前年の1〜12月号に掲載された作品を対象に審査・表彰

公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行しており、2022年5月には第695号を数えました。本会の会員にとって重要な情報提供を行うとともに、建築作品発表の機会を設け、建築技術の普及や会員の相互研鑽に寄与することを目指しています。

「建築人賞」は「建築人」のGALLERY頁に掲載された全作品の中から特に機能性、社会性、デザイン性、先進性などにおいて優れたものを顕彰することで、建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的とし、「建築人」のプレゼンスをより高めていくことを意図して創設された賞です。

審査は公平性を重視するため、主に関西以外を拠点として活躍する建築関係者、学識経験者にお願いしています。

入選作品は、いずれもその機能性、デザイン性、社会性などが高く評価されたものですが、これらを表彰し公表することによって、社会に対して建築の魅力や価値を発信し、建築文化の醸成に寄与できるものと考えています。また今後より多くの方に参加頂き、建築人賞が大阪から魅力ある建築情報を発信する動機として成長発展していくよう祈念しています。

建築情報部門長：飯田 英二

■ 歴代審査委員長

石堂 威（2008〜2012）

古谷誠章（2013〜2017）

乾 久美子（2018〜2019）

磯 達雄（2020〜）

第4回 建築人賞
2011年

③

④

⑤

賞	作品	設計	施工
建築人賞	神戸国際中学校・高等学校 河野記念アルモニホール①	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞	苦楽園の家②	二宮俊一郎+諸留智子 一級建築士事務所 エヌアールエム	創建
建築人奨励賞	児童養護施設三ヶ山学園③	野村充建築設計事務所	東亜建設工業
建築人奨励賞	西宮神社 祈祷殿④	大林組 大阪本店 一級建築士事務所	大林組
建築人奨励賞	あおい町里山文化交流センター⑤	徳岡設計	こんどう・日登建設 共同企業体
建築人奨励賞	路地のある寺内町の家⑥	NEO GEO 横関正人+三木万貴子	山本建設

⑥

②

①

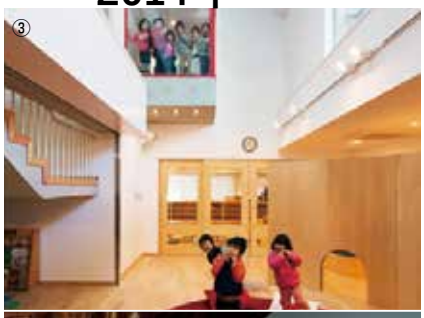
第5回 建築人賞
2012年

賞	作品	設計	施工
建築人賞	大正製薬（株） 関西支店①	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞	楡の木テラス②	石井良平建築研究所	林建設
建築人奨励賞	（株）小松製作所 大阪工場 大阪テクニカルセンタ③	KAJIMA DESIGN	鹿島・前田建設工業・間組 共同企業体
建築人奨励賞	柊木の家④	木原千利設計工房	SEEDS・CASA

第6回 建築人賞
2013年

賞	作品	設計	施工
建築人賞	日本圧着端子製造（株）①	Atelier KISHISHITA ＋ Man*go design	鹿島建設 関西支店
建築人賞	今井町の家②	NEO GEO 横関正人+横関万貴子	岩鶴工務店
建築人奨励賞	宗教法人 GLA 近畿会館③	岸 和郎+ K.ASSOCIATES/ Architectes	藤木工務店 大阪本店
建築人奨励賞	深谷山荘④	マニエラ建築設計事務所	笠谷工務店

第7回 建築人賞
2014年



賞	作品	設計	施工
建築人賞	三井ガーデンホテル 京都新町 別邸①	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞	八千代の家②	川添純一郎建築設計事務所	ビームス コンストラクション
建築人奨励賞	風の子保育園③	井上久実設計室	日本建設
建築人奨励賞	蔵の住まい④	吉村篤一＋建築環境研究所	片山工務店
建築人賞佳作	外市秀裳苑ビル	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞佳作	かもしか荘	徳岡設計	奥田工務店
建築人賞佳作	夙川の家	マニエラ建築設計事務所	笠谷工務店
建築人賞佳作	野生と和の家	木原千利設計工房	エス・エー・シー

第8回 建築人賞
2015年

賞	作品	設計	施工
建築人賞	公益財団法人 竹中大工道具館 新館①	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞	大和棟の家②	岩田章吾建築設計事務所	和田建設
建築人賞奨励賞	宗教法人 西光寺③	コンパス建築工房	日本建設
建築人賞奨励賞	ENDO 堺筋ビル④	日建設計・大成建設	大成建設
建築人賞奨励賞	大野台の家⑤	横関正人+横関万貴子 / NEC GEO	アール・ワン
建築人賞佳作	（株）チュチュアンナグループ 本社ビル	安井建築設計事務所	鴻池組
建築人賞佳作	認定こども園 せんりひじり幼稚園 ひじりにじいろ保育園	アバクス・アーキテクツ	松井建設
建築人賞佳作	LIGHT SCREEN	マニエラ建築設計事務所	梅田コーポレーション
建築人賞佳作	Rich Communication House	HTA デザイン事務所	西友建設

第9回 建築人賞
2016年

賞	作品	設計	施工
建築人賞	神戸学院大学附属高等学校 新校舎①	日建設計	淺沼組
建築人賞	斜面地の家②	石橋清志建築設計事務所	藤木工務店
建築人賞奨励賞	（株）バイオニア本社 ナレッジセンター③	大成建設 関西支店一級建築士事務所	大成建設 関西支店
建築人賞奨励賞	彦根の家④	井上久実設計室	大輪建設
建築人賞佳作	シスメックス（株） グローバルコミュニケーションセンター	鹿島建設 関西支店建築設計部	鹿島建設 関西支店
建築人賞佳作	ネッツトヨタ枚方	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞佳作	辻井の家	大西憲司設計工房	アトリエ・エイト
建築人賞佳作	Slit	マニエラ建築設計事務所	三幸建設

第10回 建築人賞
2017年

賞	作品	設計	施工
建築人賞	大光電機（株）技術研究所①	大林組	大林組
建築人賞	Frame ②	マニエラ建築設計事務所	三幸建設
建築人賞奨励賞	姫嶋神社 参集殿③	橋口建築研究所	Arcc
建築人賞奨励賞	飾磨の家④	大西憲司設計工房	笹原建設
建築人賞佳作	甲南高等学校・中学校スポーツ屋内練習場	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞佳作	日亜化学工業（株）諏訪技術センター	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞佳作	富田林の家	井上久実設計室	西友建設
建築人賞佳作	富田林じないまち・木くま館	横関正人+横関万貴子 / NEC GEO	アール・ワン

第11回 建築人賞
2018年

賞	作品	設計者	施工
建築人賞	トヨタカローラ 新大阪名神茨木店①	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞	CROSS ROOF の家②	井上久実設計室	西友建設
建築人賞奨励賞	竹中研修所「匠」増築③	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞奨励賞	Alegria Residence Utsubo Park ④	樫永一男建築研究所	貫山建設
建築人賞佳作	菅原天満幼稚園	アバクス・アーキテクツ	眞正工業
建築人賞佳作	日本圧着端子製造（株）名古屋技術センター別館 – Petali –	Atelier KISHISHITA	波多野工務店
建築人賞佳作	岸和田の家	大西憲司設計工房	匠家具工芸
建築人賞佳作	a twigs house	マニエラ建築設計事務所	建築工房小林

第12回 建築人賞
2019年

賞	作品	設計	施工
建築人賞	ふじしろ幼稚園①	アバクス・アーキテクツ	越智工務店
建築人賞	農人町の町家②	大西憲司設計工房	アトリエ・エイト
建築人賞奨励賞	兵庫県林業会館③	竹中工務店	竹中工務店・大和ハウス工業 JV
建築人賞奨励賞	四畳半キューブの家④	HAMADA DESIGN	ジェイプランニング
建築人賞佳作	大谷さやまこども園	竹中工務店	竹中工務店

第13回 建築人賞
2020年

賞	作品	設計	施工
建築人賞	御幣島ビル①	大林組 大阪本店一級建築士事務所	大林組
建築人賞	LIGHT FALLING ②	マニエラ建築設計事務所	西友建設
建築人賞奨励賞	NTN（株）和歌山工場③	竹中工務店	竹中工務店
建築人賞奨励賞	武庫川女子大学 カヌー部部室棟④	竹中工務店	永瀬
建築人賞奨励賞	高槻の家⑤	大西憲司設計工房	西友建設
建築人賞佳作	大丸 心斎橋店本館	日建設計・竹中工務店	竹中工務店

70周年記念協賛企業・団体（50音順）

大阪府建築士会70周年おめでとうございます。

技術で社会に貢献する
各種非破壊検査
建築物構造物調査
ストック型社会への貢献

ie
INSPECTORS & ENGINEERS LTD.

株式会社　アイ・イー・エル

〒591-8002　大阪府堺市北区蔵前町3-13-3
https://www.iel-jpn.co.jp　mail info@iel-jpn.co.jp
TEL 072-250-5602　FAX 072-250-5462

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

家族に愛を、住まいにアイを
アイ工務店
http://www.ai-koumuten.co.jp

〒542-0085
大阪市中央区心斎橋筋1-9-17　エトワール心斎橋９Ｆ
TEL（06）6227-8288　FAX（06）6227-8038

祝！大阪府建築士会創立70周年！！

各種特殊塗料（販売・工事）
SGコート各種他
（株）クリエイティブライフ施工販売特約店

ガラスコーティン工事
防汚・断熱コーティング

株式会社　アイテク

大阪：590-0113　大阪府堺市南区晴美台3-11-13
TEL：072-320-7867　FAX：072-350-9161
広島：720-0082　広島県福山市木之庄町1-17-25
TEL：084-923-6826　FAX：084-944-8080

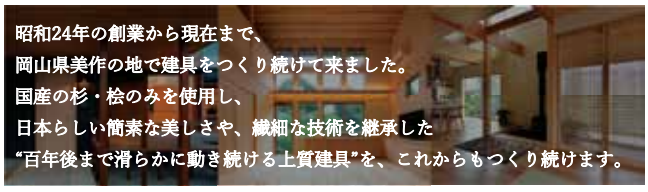
大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

私たちは世界に誇る「日本の美」を
現代の暮らしの中に提供します

株式会社 荒木造園設計

〒563-0024　大阪府池田市鉢塚2丁目10-11
電話：072-761-8874　FAX：072-762-8234
http://www.arakizouensekkei.com
メール：info@arakizouensekkei.com

大阪府建築士会の歴史に心から敬意を表します。



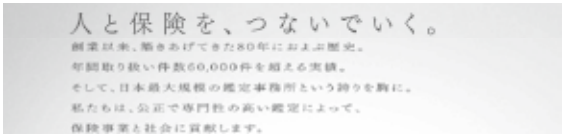
株式会社 ヤマガワ
〒708-1126 岡山県津山市押入895番地
TEL 0868-26-5666　FAX 0868-26-5788　MAIL info@k-imagawa.co.jp

祝　大阪府建築士会７０周年

空気設計　通信設計　建物診断

株式会社 上田茂久・建築設計工房
MOKU UEDA ARCHITECT & ASSOCIATES
大阪市北区中津1-12-3 中津ﾊﾞｰｸﾋﾞﾙ
Tel:06-6359-8235fax:06-6359-8236
https://uedamoku.co.jp/

創立70周年にあたり謹んでお祝い申し上げます。



UCHIYAMA
株式会社 内山鑑定事務所
〒107-0052
東京都港区赤坂 2-2-17
ニッセイ溜池山王ビル 2F
TEL:03-5545-8620　FAX:03-5545-8629

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

大阪建築士会創立70周年おめでとうございます。

VENTOSan ヴェントサン

"そこにあるものが空気"

快適で健康的な室内空気環境を実現するため、ドイツシェアNo1のデセントラル（ダクトレス）熱交換換気「VENTOsan」や、スウェーデンの第3種スマートファン「PAX Norte」など、欧州のシンプルで独創的な製品をお届けしております。

PAX

EDFS
Edifice energy saving technology

エディフィス 省エネテック株式会社
西日本営業所　〒541-0047大阪府大阪市中央区淡路町3-5-13創建御堂筋ビル2F
TEL050-6868-4902 eFax:03-6740-1943
泉佐野モデルハウス　〒598-0034大阪府泉佐野市長滝1221-1
HP:https://www.edfs.co.jp　メール：contact@edfs.co.jp

創立70周年おめでとうございます！

SE構法　×　大規模木造建築

近年、急速に増えつつある、**中大規模木造建築**
木造ラーメン構法【SE構法】は高い構造設計能力と柔軟なプレカット技術を
設計から施工・保証までのワンストップサービスで、
中大規模木造建築へ取り組む皆様に提供しております。

NCN new construction's network

構造提案・概算見積を無料で行っています。お気軽にお問合せください。
株式会社エヌ・シー・エヌ 特建事業部
〒108 - 0075 東京都港区港南1-7-18 A-PLACE品川東
TEL：03-6872-5641 Mail：tokken-info@ncn-se.co.jp
大規模木造　SE構法　検索

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

OCTは第一線の現場・社会で活躍できる
「真の仕事力」を備えた人材を育成します。

建築学科／インテリアデザイン学科／大工技能学科
建築設計学科／建築学科Ⅱ部／建築士専科／ロボット・機械学科

学校法人福田学園
大阪工業技術専門学校
OSAKA COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒530-0043
大阪府大阪市北区天満1-8-24
TEL：06-6352-0091
MAIL：info@oct.ac.jp

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

当基金は、公的年金制度とは別に事業所ごとに加入する「**企業年金制度**」です。**確定給付年金（ＤＢ）**に加え、**確定拠出年金（ＤＣ）**も導入可能です。加入者のみなさまの**将来の資産形成**をサポートいたします。お問い合わせをお待ちしております！

大阪府建築企業年金基金
〒540-0019　大阪市中央区和泉町2-1-11
TEL：06-6943-6462(代表)　FAX：06-6943-8816
Mail：oskkenpf-kikin@clock.ocn.ne.jp
http://www.kenchiku-nenkin.or.jp

大阪府建築士会 70 周年おめでとうございます。

働く皆様の健康生活と福祉の向上を目指して！

設計事務所等建築関連企業の事務所を対象に加入していただき、
その事業所に勤務する従業員や家族のために健康保険の事業
（医療給付、健康管理等）を実施しています。
また、会議、研修会等集会施設の運営も行っています。

大阪府建築健康保険組合

〒540-0019
大阪市中央区和泉町２丁目１番１１号
TEL　06(6942)3621(代表)
FAX　06(6941)1815
http://www.kenchiku-kenpo.or.jp

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

大阪府木材連合会では、木材を優先して活用する「ウッドファースト社会」の実現のため、2025年大阪・関西万博に向けて非住宅分野の木造・木質化を提案しています。

万博大型リング　支柱の丸太提案

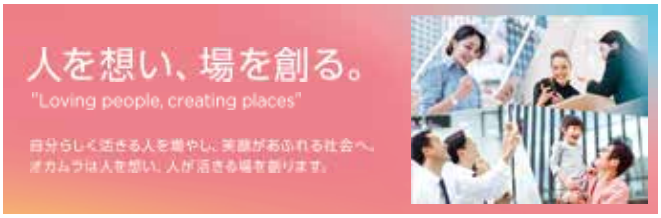
一般社団法人大阪府木材連合会
〒559-0025　大阪市住之江区平林南1-1-8
大阪木材会館2階
TEL：06-6685-3101　FAX：06-6685-3102
E-mail:mokosaka@leaf.ocn.ne.jp
HP:https://www.mokuzai.or.jp

大阪府建築士会70周年をお祝いします。

貴会のますますの発展を祈念いたします。

一般財団法人
大阪建築防災センター
大阪市中央区谷町3丁目1番17号
TEL.06-6943-7253

大阪府建築士会、70周年おめでとうございます



okamura

株式会社 オカムラ 大阪支店
〒530-0011　大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪タワーA 21階
TEL. 06-4802-3330

大阪府建築士会７０周年おめでとうございます!

ＯＫＡＭＥＩにお任せください！
資材の事、加工の事、施工の事、申請書類の事、様々な事に対して情報提供、相談に応じ対応いたします。

フンデガーＫ２ｉを有し、**非住宅・中大規模建築物の木造化**に貢献いたします！！
建て方の請負もセットで現場の負担を軽減します！

住宅関連資材　情報発信基地
OKAMEI
株式会社岡本銘木店

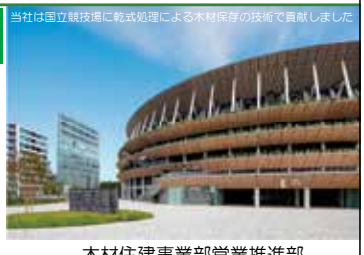
株式会社　岡本銘木店
大阪府吹田市岸部北５－３２－１
ＴＥＬ０６－６３８８－３４１１
ＦＡＸ０６－６３８７－９７１７

祝大阪府建築士会70周年　環境の未来へ！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

環境パイル工法
2021年度 第30 回地球環境大賞「環境大臣賞」受賞(間伐材を含む国産木材を用いた地盤補強工法「環境パイル工法」の推進)
SDGs時代の
国産木材×地盤改良工法

ジオテック事業部非住宅営業部



木材住建事業部営業推進部
✉：biz-promotion@ksustech.co.jp

兼松サステック株式会社　見えないところに心を込めて

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

日本古来の伝統素材「漆喰」を使用した抗菌・抗ウイルス塗料
「アレスシックイ」を塗装する事で、室内を安全・安心・快適な
空間づくりをご提案させて頂きます。

ALES SHIKKUI

KANSAI PAINT

関西ペイント販売株式会社

〒541-0042　大阪市中央区今橋２－６－１４
TEL:06-6203-5701　　FAX:06-6203-5603

大阪府建築士会７０周年おめでとうございます。

人と建物をつなぐリノベーションリーダー**ＫＧＳ**
国土交通省認可東計振第１８５号

近畿外壁仕上業協同組合

理事長　神農　竹夫

建築仕上工事を通じて、国民財産の保全と美観維持という責任を果たし、
社会に貢献していきます。

550-0011　大阪市西区阿波座１丁目７番１２号
東新ビル８Ｆ
TEL：06-6533-0768　　FAX：06-6533-0784
URL：http://www.kinki-gaiheki.or.jp/
E-mail：kgs@abeam.ocn.ne.jp

大阪建築士会 70 周年おめでとうございます。

荷物用エレベーター マルチベアー

設計・製造・販売・メンテナンスを
自社一貫で行う
総合エレベーターメーカーです。

・荷物用エレベーター
・小荷物専用昇降機 など

クマリフト

本社：大阪市西区京町堀1-12-20
TEL：0120-07-0570
HP：www.kumalift.co.jp

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

まずは体験！お申込み随時受付中！

グラフィソフトジャパン株式会社
本社　　〒107-0052 東京都港区赤坂3-2-12 赤坂ノアビル 4階
大阪事業所　〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-5-25 新大阪ドイビル 6階
担当：笠松 哲司 Tel：090-7252-4166 email：kasamatsu@graphisoft.co.jp

GRAPHISOFT BUILDING TOGETHER

大阪府建築士会70周年おめでとうございます

安心という品質。

コーナン建設株式会社

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

小松ウォール工業株式会社
www.komatsuwall.co.jp

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

大阪で創業し構造設計一筋で３４年間、信頼と実績の繁建築構造事務所は、大阪府建築士会と建築に携わる皆様方を応援しております。
大規模建築から中小規模のものまであらゆるニーズに幅広く誠心誠意対応いたします。
ご用命がございましたら下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。

SHIGERU Structural Engineers
株式会社 繁建築構造設計事務所
０６－６９４７－５２５０　https://shigeru-st.com

大阪府建築士会70周年おめでとうございます。

つくるを　創り　続けて　繋がってゆく。

学校法人　修成学園
修成建設専門学校
一級建築士受験資格認定校　職業実践専門課程認定校

〒555-0032　大阪市西淀川区大和田5-19-30　　0120-446-456
建築学科/建築CGデザイン学科/空間デザイン学科/住環境リノベーション学科/土木工学科
建設エンジニア学科/ガーデンデザイン学科/専科 2級建築士科/専科 1級建築士科

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

兵庫県朝来市立ふれあいプール「くじら」

ホームコネクターは、木材を美しく
強く、簡単に接合します！

皆様方の設計にお取込み頂き、素晴らしい木造建築物にお役立て頂きます様お願い申し上げます。

SCRIMTEC JAPAN　株式会社 スクリムテックジャパン

本　　社：〒818-0035　福岡県筑紫野市美しが丘北2-4-7
TEL:092-919-8006　FAX:092-919-8025
大阪事務所：〒530-0037　大阪市北区松ヶ枝町7-7　日宝松ヶ枝町ビル303号
TEL:06-4801-8120　FAX:06-4801-8121
東京事務所：〒102-0094　東京都千代田区紀尾井町3-29　グルックハイム紀尾井町5003号
TEL:03-5212-8001　FAX:03-5212-8002

大阪府建築士会創立70周年おめでとうございます

総合資格学院は
1級建築士
全国合格実績
No.1

令和3年度 1級建築士 学科・設計製図試験
全国 ストレート合格者占有率
59.2%（他講習利用者＋修学者 / 当学院当年度受講生）
全国ストレート合格者1,342名中/当学院当年度受講生794名

令和3年度 1級建築士 設計製図試験
全国 合格者占有率
52.7%（他講習利用者＋修学者 / 当学院当年度受講生）
全国合格者3,765名中/当学院当年度受講生1,986名

※合格者数は(公財)建築技術教育普及センター発表に基づく。(令和3年12月30日現在)

総合資格学院

梅田校 TEL.06-4709-8111　なんば校 TEL.06-6648-5511
京橋校 TEL.06-6882-8211　堺校 TEL.072-222-9311
スクールサイト www.shikaku.co.jp　総合資格　検索

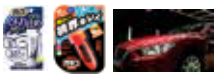
開講講座：1級・2級 建築士/建築施工管理/土木施工管理/管工事施工管理/造園施工管理/構造設計1級建築士/設備設計1級建築士/建築設備士/宅建士/賃貸不動産経営管理士/インテリアコーディネーター

70周年　おめでとうございます！

金属パネル用

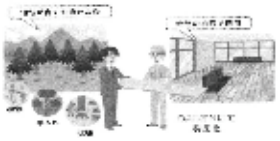
コンクリート用

SOFT99
株式会社 ソフト99コーポレーション
〒543-0012 大阪市中央区谷町2-6-5　TEL.06-6942-2351
〒135-0062 東京都江東区東雲2-11-12　TEL.03-5523-1250
www.soft99.co.jp



創立７０周年　おめでとうございます

DAIKENは『技術』で地域産材活用を応援します。



キノウを超える、ミライへ。
DAIKEN
大建工業株式会社
大阪市北区中之島３－２－４
中之島フェスティバルタワー・ウェスト
ＴＥＬ　０６－６２０５－７２１４

大阪府建築士会70周年おめでとうございます。

足元が格子目の蓋で歩きづらくないですか？
また、側溝内のゴミ詰まりや雑草で維持管理が大変ではないでしょうか？
弊社製品「Tosk　Remake　Cover」で水は通し、ゴミ・落ち葉は落とさない、フラットな仕上がりで足元を綺麗に。

ダイドレ株式会社

大阪府建築士会 70 周年おめでとうございます

DaiwaLease
大和リース株式会社　www.daiwalease.co.jp
本社　大阪市中央区農人橋2丁目1番36号　ビップビル
〒540-0011　Tel 06-6942-8011　Fax 06-6942-8051

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

スマホのカメラでアクセス！
アプリ不要！
たとえばこのような
ガチャでクーポン発行。
集客UPに！

一度ためしてみて！
新しいスマホ専用コンテンツ作成サービス！
使える新サービス
スマホと連動した新しい商材
新たな集客に
中和のデザインQRコード
design Qkuwa

中和印刷紙器株式会社
CHUWA　since 1936
〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53番地
TEL.(073)431-4411
中和印刷　検索

公益社団法人大阪府建築士会
創立７０周年おめでとうございます。

弊社は北九州市小倉北区に本社を置きトイレなどの衛生陶器をはじめ、バス・キッチンなど水回りを中心とした商品を国内外で製造・販売しております。また、ＴＯＴＯオンリーワン技術の「セフィオンテクト」「きれい除菌水」等の技術力を強みとしております。

ＴＯＴＯ株式会社関西支社　市場開発第一部
住所：〒530-0017　大阪市北区角田町8-1
大阪梅田ツインタワーズ・ノース20F
TEL：0570-01-0109　FAX：06-6940-0030
URL:https://jp.toto.com

大阪府建築士会 70 周年おめでとうございます！

当社は令和４年２月で、設立５３年となりました。
鉄筋コンクリート造や鉄骨造の超高層免震・制振構造建築物や、木造の五重塔など高度な技術を要する構造設計（大臣認定）にも対応いたします。

Nose Structural Engineering
株式会社 能勢建築構造研究所
<本　　社>大阪府大阪市中央区瓦町 3-3-7 瓦町ＫＴビル
<東京支社>東京都千代田区九段北 1-14-21 九段アイレックスビル
<福岡支社>福岡県福岡市中央区舞鶴 2-2-3 サンライフ赤坂 Bldg.
http://www.nosekenchiku.co.jp

【祝！！大阪府建築士会創立70周年】

フッ素系アイオノマー+光触媒の世界初の特許技術を基に、さらなる性能向上や現場施工に適応させた「ピュアコート®」。塗装面、コンクリート面、タイル、焼付パネルなど広範な基材に対応。防汚機能だけでなく下地保護機能も併せ持つ。また、室内の照明でも抗ウイルス・抗菌効果を発揮する室内用もラインナップ。

光と水のEconology
Pure Coat
株式会社ピアレックス・テクノロジーズ
www.pialex.co.jp
ピュアコート
本社：〒595-0016 大阪府泉大津市条南町4-14
TEL 0725-22-5361　FAX 0725-22-5363

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

より安全な建物のために私たちに出来ること。

建物の維持保全には目に見えない内部の損傷や劣化を調査することがとても重要です。

私たちは、建物診断や、耐震診断の際に現場でのデータを重視し、より的確なデータを上げることで皆さまの、より安全で安心な生活を応援しています。

BIKOU
建築、土木造構造物の調査、診断
株式会社 ビコウエンジニアリング
〒583-0009 大阪府藤井寺市西大井2丁目271-1
TEL072-931-3113 FAX072-931-3110
http://bikou-eng.co.jp

大阪府建築士会70周年おめでとうございます

福井コンピュータアーキテクト株式会社
■関西営業所／大阪市城東区永田４-１５-６深江橋ＭＨビル２階
■本　　社／福井県坂井市磯部福庄５-６
https://archi.fukuicompu.co.jp
0570-039-291

大阪府建築士会70周年おめでとうございます!

当社は1958年創業以来、給排水衛生設備工事及び空気調和設備工事を軸としオフィスビル、工場、ショッピングモール、マンション、老人ホームなど企業活動や暮らしを支える環境衛生工事を行ってまいりました。
　今後も快適なオフィス、住環境を創造する企業として成長してまいります。

大阪市指定　給排水衛生・空調設備
株式会社　マサキ設備
〒536-0002 大阪市城東区今福東2-4-30
TEL.06-6933-2090
https://www.masakis.co.jp

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

「木材の魅力や素晴らしさを世界中の人々に伝え、人々の心を豊かにすること」
この理念と共に「暮らしの中に木のぬくもりを」の想いを込め、無垢一枚板のブランドとして「**M's（エムズ）**」が誕生しました。
人の表情が一人一人異なるように、
無垢一枚板の表情もそれぞれです。
常時150枚を展示している、
M'sショールームでお待ちしております。

村上木材株式会社
MURAKAMI LUMBER Co., Ltd.
村上木材株式会社
〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-108
TEL: 06-6685-0431 http://www.mr-lb.co.jp/

大阪府建築士会70周年おめでとうございます。

森村金属はモノづくりのまち 東大阪市 の金属建材メーカーです。
当社は創業以来、世の中にないものを作ること、オンリーワン商品を作って皆様に喜んでいただくことをモットーとしています。

主力製品：スパンドレル・システム天井・天井ルーバー・サイディングジョイナーetc.

MORISON
森村金属株式会社
本社・工場　大阪府東大阪市角田1丁目8番1号
〒578-0912　TEL(072)962-7321　FAX(072)965-6954
東京支店・名古屋支店・九州営業所・関東工場

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

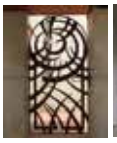
新時代のラスモルタルを提供する
ZEH対応
ラスモルタル外壁通気構法ＡＰＭ工法
2021年KENTN優良製品・技術表彰【優秀賞】

YAMALATH
創業
大正
14年
株式會社 山中製作所
大阪府堺市堺区遠里小野町２丁１番８号
URL：http://yamalath.co.jp

大阪府建築士会70周年心よりお祝い申し上げます

UNION ARTWARE
株式会社ユニオンは住宅向け、特に注文住宅・リノベーション住宅にマッチするハードウェアを集めた「Lamoe」シリーズから、「真鍮ラインナップ」を今春、新発売いたします。
UNIONではカスタムオーダーも承っておりますので、些細なことでも是非一度ご相談ください。
株式会社ユニオン　[本社]〒550-0015大阪市西区南堀江2-13-22　[HP] https://www.artunion.co.jp/

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！



建築・インテリアから、エクステリア・ランドスケープの構造物、モニュメントまでオーダーメイドでロートアイアンをご提案します。

WROUGHT IRON YOSHIYO
株式会社 よし与工房
http://wroughtiron.homepage.jp/

京都本社・工場　京都府亀岡市曽我部町犬飼川北41
（メタル事業部）TEL　0771-22-1305　FAX　0771-25-7485
東京ショールーム　東京都品川区東五反田5-25-19
東京デザインセンター2F
TEL　03-6277-4445　FAX　03-6277-4419
大阪事務所　大阪市淀川区西中島4-6-29　第３ユヤマビル6F
TEL　06-6459-9488　FAX　06-6459-9466

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

災害配慮トイレ【レジリエンストイレ】
平常時は洗浄水量5Lの水洗トイレとして使用でき、
シャワートイレも設置可能です。
断水時には洗浄水量を5Lから1Lに切り替えて使います。
使い慣れたトイレを断水時も使用するため安心です。

LIXIL
株式会社 LIXIL
〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-7-62
TEL06-6615-2705　FAX06-6615-2712
www.lixil.com

大阪府建築士会70周年おめでとうございます！

YKK ap
YKK AP株式会社
ビル建材第一事業部　大阪支店
大阪市北区中之島3－2－4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト7F
TEL：06-6206-1717　https://www.ykkap.co.jp/

70周年記念ご協賛ありがとうございました。

水都大阪の未来を拓く

在宅福祉と

ウォーターフロントの革新

2025 年の大阪・関西万博を迎えるにあたり、大阪の未来を考える契機としてシンポジウムを開催いたします。

＜１部＞

建築士が住宅建築に関わっていく中で、機能性に加えて居心地等を重視した福祉施設の在り方を考え、これからの在宅福祉と建築の連携を考えます。

＜２部＞

大阪は淀川河川敷整備やまちなかの水辺空間などが進行する中、水運など水辺の利用に関するウォーターフロント活用の変革を考えます。

両シンポジウムによって、建築士が市民に何を示すべきかを発信したいと思います。

日時

2022 年 7 月 1 日（金）建築士の日

10：00～17：00

会場

大阪工業大学梅田キャンパス

OIT 梅田タワー常翔ホール 大阪市北区茶屋町 1-45

70th anniversary of foundation 2022

主催　公益社団法人 大阪府建築士会

創立 70 周年記念シンポジウム

CPD 6 単位

1 部　10：00～12：00

これからの住まいと福祉

二井　清治　㈱二井清治建築研究所代表取締役

二井るり子　㈲プラネットワーク代表取締役

コーディネーター

寺地　洋之　大阪工業大学教授

2 部　13：00～17：00

ウォーターフロント活用の可能性とその意義

基調講演　13：00～14：30

陣内　秀信　法政大学特任教授

パネルディスカッション　14：50～16：50

前田　昌則　大阪市北区長

藤本　壮介　㈱藤本壮介建築設計事務所代表取締役

(c) David Vintiner

堀　　感治　㈱One Osaka ループバス推進機構理事長
㈱関西インバウンド事業推進協議会
（ワンダーグループ）代表取締役社長

杉本　容子　(一社)水辺ラボ代表理事
㈱ワイキューブラボ代表取締役

コーディネーター

髙原　浩之　㈱HTA デザイン事務所代表取締役

協力　学校法人　常翔学園

後援　（順不同）

（公社）日本建築士会連合会	（一社）日本建設業連合会関西支部
（公社）滋賀県建築士会	（一社）日本建築構造技術者協会関西支部
（一社）京都府建築士会	（公社）日本建築積算協会関西支部
（公社）兵庫県建築士会	（一社）建築設備技術者協会近畿支部
（一社）奈良県建築士会	（一社）大阪電業協会
（一社）和歌山県建築士会	（一社）大阪空気調和衛生工業協会
（一社）日本建築協会	（一社）大阪府設備設計事務所協会
（公社）日本建築家協会近畿支部	（一社）関西建築構造設計事務所協会
（一社）日本建築学会近畿支部	大阪弁護士会
（一社）大阪建設業協会	（公社）全日本不動産協会大阪府本部
（一社）日本建築材料協会	（一社）大阪府宅地建物取引業協会
（一社）大阪府建築士事務所協会	（公社）大阪府不動産鑑定士協会

協賛　（50 音順）

(株)アーキ・ネクスト	(株)オカムラ大阪支店	大和リース(株)
(株)アイ・イー・エル	(株)岡本銘木店	中和印刷紙器(株)
(株)アイ工務店	兼松サステック(株)	ＴＯＴＯ(株)関西支社
(株)アイテク	関西ペイント販売(株)	(株)長田建築事務所
(株)荒木造園設計	近畿外壁仕上業協同組合	(株)能勢建築構造研究所
(株)イマガワ	クマリフト(株)	(株)ピアレックス・テクノロジーズ
(株)上田茂久・建築設計工房	グラフィソフトジャパン(株)	(有)ビコウエンジニアリング
(株)内山鑑定事務所	コーナン建設(株)	福井コンピュータアーキテクト(株)関西営業所
エーアンドエー(株)	小松ウオ－ル工業(株)	(株)マサキ設備
エディフィス省エネテック(株)	(株)繁建築構造設計事務所	村上木材(株)
(株)エヌ・シー・エヌ	(学)修成学園 修成建設専門学校	森村金属(株)
大阪工業技術専門学校	(株)スクリムテックジャパン	(株)山中製作所
大阪府建築健康保険組合	(株)総合資格関西本部	(株)ユニオン
大阪府建築企業年金基金	(株)ソフト９９コーポレーション	(株)よし与工房
(一社)大阪府木材連合会	大建工業(株)	(株)ＬＩＸＩＬ
(一財)大阪建築防災センター	ダイドレ(株)	ＹＫＫ ＡＰ(株)

大阪ここちエエ

写真 田籠哲也　文 牧野隆義

桜の花が咲き誇る風景に人々は何を思うか。
今回は、八尾市東部の住宅街を南北に貫く玉串川沿いに続く桜並木を取り上げる。
この玉串川沿いに植えられた桜は、1960年代前半に工場が出す排水により汚染が進んでいた川の再生を図るため、1965年から住民などの寄付により徐々に植樹されていったものである。この近鉄河内山本駅から北側2㎞と南側3㎞にわたる桜のトンネル並木は、「大阪みどりの百選」に選ばれ市民の心を和ませてくれている。
この満開の桜を見ると、平和な日々の尊さを実感する。桜は平和の象徴で、平和の祈りがウクライナに届いて欲しい。

2022年「建築人」作品募集

審査委員長　磯 達雄

1963年　埼玉県生まれ
1988年　名古屋大学工学部建築学科卒業
　　日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務（～1999年）
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年　フリックスタジオ共同主宰（～2020年）
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰

Gallery 掲載要項

Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか?

掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に！

『建築人賞』とは

Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。（毎年1月号～12月号掲載作品）

『建築人賞』は、これまで13回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。
2022年は昨年に引き続き、建築ジャーナリストの磯 達雄さんにお願いしています。

賞には、「建築人賞」「建築人奨励賞」「建築人賞佳作」「建築人新人賞」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに『建築人賞』の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月（予定）に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙行しており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。

記念盾　グラスアーティスト 佐久間 靖 作（左：建築人賞　右：建築人新人賞）

佐久間 靖

1971 年 大阪府高槻市生まれ
1996 年 神戸学院大学 法学部 卒業
1997 年 株式会社 ロクレールプロダクショングラスアーティスト 三浦啓子氏に師事
2016 年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

■ 掲載費用

100,000円（1頁カラー）
＊①：初回割引　80,000円
（設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合）
＊②：若手初回割引　50,000円
（40歳以下で建築設計事務所を主宰されている方で＊①を満たす方）

■ 掲載概要

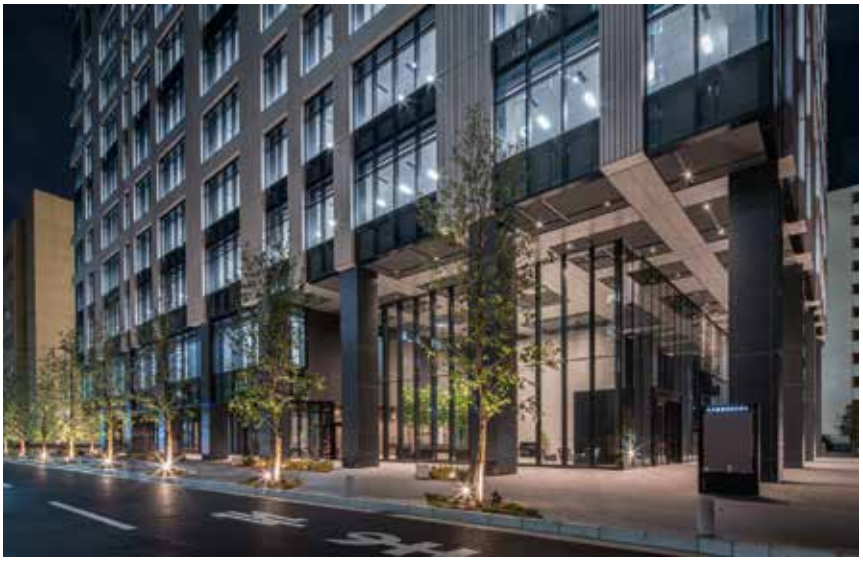
建築主、設計者、施工者、協力会社、
所在地、用途、竣工年、構造規模、
敷地面積、建築面積、延べ床面積

■ 掲載記事内容

写真4点程度
説明文章：約300字程度

新大阪第2NKビル

設計：大林組大阪本店一級建築士事務所
施工：大林組



大阪メトロ御堂筋線から見通しの利く立地で、「新大阪のランドマークとなるオフィスビル」が、建築主の要望であった。リモートワークが浸透した今だからこそ「人が集う」ことの意味を重視し、2階に入居者交流ラウンジや貸会議室などの交流のコアを設け、店舗の出入口が面する吹抜けのエントランスホールと連続させ、人々の視線や動きが立体的に交錯する交流空間を、家具や植栽で彩った。建築主の事業である「駅から始まる街づくり」を、道路や線路が交錯しインフラが拡張する様と読み替え、様々なラインが交錯するデザインとして表現し、独自性のあるファサードや内装デザインを実現した。このビルが「集い・拡がる」中心となり、新大阪の新たなランドマークになることを願う。（飯田久、中谷真、林泰宏）

所在地：大阪府大阪市
用　途：事務所
竣　工：2022.01
構造規模：鉄骨造
　　地上13階
敷地面積：3,206.32㎡
建築面積：2,052.29㎡
延床面積：25,735.08㎡
写　真：伸和
　　藪内正直

大阪府医師協同組合 南館

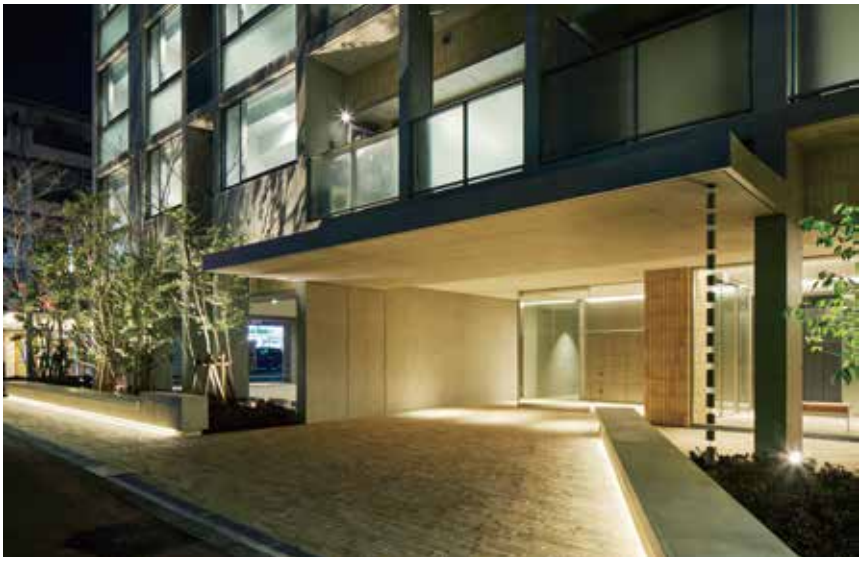
設計：大成建設関西支店一級建築士事務所
施工：大成建設関西支店

上町台地に建つ間口9m、8階建ての事務所テナントビル。
敷地から発掘された大坂城惣構跡に着想を得て、耐震壁付き鉄筋コンクリート構造の躯体を活かし、目地ごとにランダムの色を配置する石垣をイメージした外装とした。短手方向のロングスパン梁と扁平にした柱型により、執務空間の有効間口を最大限確保した。ELVへのアプローチ空間は、敷地の奥行感を活かし路地に見立て、外壁が入り込むような石垣イメージの特殊塗装壁面とし、上町筋に相応しい、落ち着きのあるたたずまいを持つ医業事務所の建築を目指した。この敷地の持つ歴史的な背景、空間的な特性にこたえながら、小規模RC事務所ビルのプロトタイプとなりえるのではと考えている。

所 在 地：大阪市中央区
用　　途：事務所
竣　　工：2022.03
構造規模：RC造
　　地上8階
敷地面積：334.31㎡
建築面積：255.56㎡
延床面積：1,892.00㎡
写　　真：今田耕太郎

フローレス都島Ⅰ

設計：置塩淳夫建築設計事務所
施工：林建設



大阪市内に建つ40戸の集合住宅。敷地は3方が道路に面して、短冊状の街区の短辺を占める。駅へとつながる人通りの多い西側道路に面して、庭とベンチ、ポルティコとエントランスを設けた。交通量のわりに窮屈な歩道にオープンスペースを沿わせ、交差点に面する隅にシンボルツリーとしてヤマボウシとカツラを植えた。住棟はレンガ張りのヴォリュームの外側にRCマリオンが巡る構成で、連続するマリオンは内外の緩衝帯を形成し、ファサードに陰影のある奥行きをもたらす。住戸の過半は角部屋で、通風採光に有利なプランとし、構造は高強度コンクリートを用いて柱の数を最小化した。木々が根付くとともに心地よい街の風景となることを目指した。

所在地：大阪府大阪市
用　途：共同住宅
竣　工：2022.03
構造規模：RC造
　　地上8階
敷地面積：832.28㎡
建築面積：488.25㎡
延床面積：3,276.87㎡
写　真：藤井浩司

LINNAS Kanazawa

設計：Kd plus archi.Lab. + イワクラ
施工：イーデザイン

金沢・近江町市場の東側に位置し、ヒュッゲ（Hygge デンマーク語で居心地がいい空間や楽しい時間）をコンセプトとする、ライフスタイルホテルである。メインの用途であるホテルに併設して、レストラン・サウナ・シェアキッチン・コワーキングスペースを有する「街の中の小さな複合施設」としてライフスタイルを提案している。エントランスホールは2層の吹き抜け空間となっており、提灯を利用した特殊照明を中心として「和」を感じながら、来訪者の期待感が高まる空間構成とした。客室はシックなベースカラーの中に「和」の伝統色をポイントに使い落ち着いた色調とし、コンパクトな室内ながらも快適で寛ぐことができる空間を目指した。

所 在 地：石川県金沢市
用　　途：ホテル・レストラン
竣　　工：2017.11
構造規模：鉄骨造 地上6階
敷地面積：421.64㎡
建築面積：350.02㎡
延床面積：1,712.62㎡
写　　真：松村芳治

動静レポート

本会は運営、研修、事業、建築表彰、建築情報、社会貢献の6つの部門により活動しています。

会長動静

3/28　大阪府建築部藤本部長来訪面談
3/29　近畿会長会議、近畿建築士協議会
4/ 1　大阪弁護士会長・副会長来訪面談
4/ 5　大阪府収用委員会
4/19　全日本不動産協会　意見交換会
4/20　日刊建設工業新聞インタビュー、理事会、正副会長会議
4/21　大阪府住宅建築局・財部局長他と面談
近畿会長会議、近畿建築士協議会
4/22　全日本不動産協会　理事会
京都府建築士会　衛藤元会長叙勲及び岩村副会長褒章祝賀会

4月度　理事会報告

(1) 入退会の承認

（人）	3月	入会	退会等
正 会 員	2,331	5	90
準 会 員	36	0	2
特準会員	26	0	1
賛助会員	139	0	3
計	2,532	5	96

(2) 令和3年度収支決算について
令和3年度の収支決算は、当期の正味財産期末残高は53,754,855円となり、前年度から△494,084円を報告し承認されました。
3年度は、特定空家撤去工事の包括的業務委託及びマンション維持管理の大規模修繕計画業務の受託事業収支が堅調に推移し、役員の寄附も含めて前年度より大きく増収しました。
一方で、公益目的事業はコロナ禍の影響を受けて定期講習や22条研修等の各種事業が中止・延期又はWeb化を余儀なくされ、全般的に事業収入が低下しました。
公益法人の運営条件である①経常費用の合計額176,366,412円に対して、公益目的事業額156,155,915円が1/2以上を占めること、②当期経常増減額の公1・公2・公3並びに公益目的事業会計が全てマイナスであること、③収益事業額の672,190円の50%を公益目的事業に振替えても当期増減額がマイナスになっていることの3点すべてを満たしていることを報告しました。
なお、3年度の公益目的事業比率は88.5%で、公益法人の条件である50%を大きく上回りました。
また、公益社団法人へ移行後の8年間の平均は86.8%と高い公益性を維持しています。

(3) 70周年事業準備の進捗
記念シンポジウムのフライヤーが完成し、「建築人」5月特集号に同封して広報を開始します。
特集号は、藤本壮介氏・香山壽夫氏の寄稿、10年間の活動と建築人賞の作品集等で構成しています。
協賛は48社198万円に達し、特集号の原稿締切りに伴い一次募集を終え、引き続き催事当日に協賛企業を紹介する二次募集を行います。
なお、70周年記念事業の盛会のため役員・会員の参加を呼び掛けました。

【報告】
(4) 本会の電子化の一環としてTeamsを導入し、データの共有や会議資料のペーパーレス化を図る。本理事会の前後で役員向けサポート会を実施しました。
(5) 北河内・中河内の歴史的建造物マップの発行に伴い役員に配布しました。
(6) ホームページ掲載の「大阪文化財ナビ」の各種コンテンツを充実化したことを紹介し、これからも会員等の利用向上に努めるといたしました。
(7) 会員の年齢別、年代・性別・資格・職種の属性調査結果を報告しました。

大阪弁護士会の福田健次会長が就任挨拶のため来会

大阪弁護士会の福田健次会長（写真）、上田憲、黒田愛、足立毅、石川直基、嶋津裕介、鈴木秋夫、井﨑康孝の各副会長が役員就任挨拶のために4月1日に来会され、本会の岡本会長、濵田・田中両副会長がお迎えいたしました。
本会からは事業活動や行政との連携について説明し、お互いに協力して建築紛争などの社会的課題解決に取り組んでいくことを改めて確認しました。

弁護士会役員の皆様と本会役員

令和4年建築士試験の申込状況

令和4年建築士試験のインターネットによる受験申込みの受付が建築技術教育普及センター本部で行われ、4月14日に締め切られました。
4月19日現在の受験申込者数は、下表のとおりです。

◇一級　受験申込者数　（　）は昨年比

	学科	製図
試験日	7/24	10/9
大阪	3,776 （±0）	568 （+1）
全国	41,797 （－712）	5,551 （－1,061）

◇二級　受験申込者数　（　）は昨年比

	学科	製図
試験日	7/3	9/11
大阪	1,889 （－50）	385 （+33）
全国	24,136 （－375）	4,759 （+123）

◇木造　受験申込者数　（　）は昨年比

	学科	製図
試験日	7/24	10/9
大阪	118 （－11）	4 （±0）
全国	820 （+18）	42 （－5）

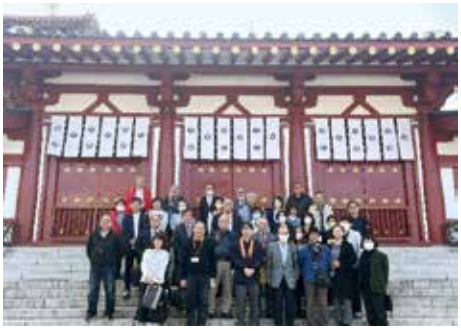
Topics

『聖徳太子と四天王寺』講演と見学会　第二回四天王寺の歴史と宝物

日程：令和4年3月15日（火）
会場：四天王寺 本坊 安養殿
参加者：34名

中北　力（理事）

事業部門シニアサロンと地域分科会建築士の会「大阪市南」は共催企画として、四天王寺の見学と講演会を実施いたしました。
本企画は、大阪で暮らす私たちにとっては身近だけど意外と知らない四天王寺の歴史と建築を学ぶ全三回のシリーズです。第一回では、四天王寺の歴史と聖徳太子について建築士会会議室にて開催致しましたが、第二回は現地にて開催することができました。
当日、四天王寺境内では早咲きのサクラと五重塔とのコントラストが非常に美しかった上に、講演会場の客殿には、隣接して本坊庭園があり、その景色を見ると五感で感じる実地開催の良さを実感できました。
前回に引き続き講師にお迎えした一本崇之氏（四天王寺歓学部文化財係主任・学芸員）より四天王寺の歴史についておさらいをしていただいた後、四天王寺収蔵の宝物や信仰について講演をしていただきました。
四天王寺の信仰の対象は大きく分けると3つあり、それは聖徳太子への信仰、舎利信仰、浄土信仰だそうです。その3つの信仰に沿って四天王寺で収蔵されている宝物や伝統について解説をしていただきましたが、普段身近な場所で暮らしている中で、これだけの伝統が受け継がれていたとは知らず非常に驚き感銘をうけました。
客殿にて歴史と宝物について講演をしていただいた後に、同境内の四天王寺宝物館へ移動し一本講師より展示されている宝物について解説をしていただきましたが、展示品を漠然と見ているだけでは気づかない部分を詳しく教えていただきとても勉強になりました。
四天王寺では、聖徳太子御聖忌千四百年記念として収蔵の国宝や秘仏を5月8日までの間、前期と後期に分け特別公開されています。今回の企画に参加できなかった方もこの機会に見学されてはどうでしょうか。
次回5月19日の第三回では、『四天王寺の仏像を観る』をテーマに見学会を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。



建築相談室から（61）　2021年度の建築相談

橋本頼幸（建築相談委員会幹事）

毎年5月は前年度の建築相談室の活動についてまとめています。2020年春からの新型コロナ感染症については、緊急事態宣言だけではなく、まん延防止等重点措置も発令されました。2021年度の大阪府内の発令期間は以下の通りでした。まん延防止措置が2021/4/5（月）～4/24（土）、その後間を空けずに緊急事態宣言4/25（日）～6/20（日）となり、その後まん延防止措置6/21（月）～8/1（日）にもどり、その後緊急事態宣言8/2（月）～9/30（木）となり一旦落ち着きます。そして年が変わってからまん延防止措置2022/1/27（日）～3/21（月）となりました。建築相談は、4/26（月）～6/18（金）、8/2（月）～9/17（金）、2022年2/1（火）～2/18（金）の3回休会となっていました。1回目の休会は緊急事態宣言の間中、2回目は休緊急事態宣言下の9/21（月）に再開しています。3回目の休会は事務局にコロナ感染者が出たために休会となりました。

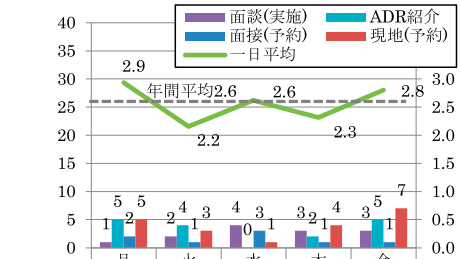
全体の相談件数

全相談件数は394（20年度568、21年度766）件でした。面接相談も13（同15、22）件、現地相談申込も20（同30、47）件と全て減少しました。年間相談日数は153日（同175、234日）であり、1日平均2.6件（同3.2、3.3件）でした。例年より約80日、昨年から見ても約20日相談日数が減り、1日の相談件数は2.6件とはじめて3件を下回りました。20年度が前年同様3.2件程度だったのですが、21年度は1日の平均相談件数も減少することになりました。また、相談がなかった日が10日、1件しかなかった日が34日もあり、一日の最大相談件数がこれまでの10件程度から6件と軒並み減少傾向にあり、相談日が減ったことだけではなく、建築相談が減ったことがよくわかります。

曜日ごとの相談件数

曜日ごとに見ると月曜日と金曜日の相談件数が多く、現地相談の予約も他の曜日よりも多くなっています。特に現地相談は月曜日と金曜日に集中します。火曜日と木曜日は相談件数が少なめです。この傾向はここ数年ほぼ同じで相談日や相談件数が減っても変わりませんでした。
ここで書き切れなかった、本報告の詳細な内容は大阪府建築士会・建築相談室のホームページでご覧いただけます。

図　曜日ごとの相談件数



	月	火	水	木	金
面談(実施)	1	2	4	3	3
ADR紹介	5	4	0	2	5
面接(予約)	2	1	3	1	1
現地(予約)	5	3	1	4	7
一日平均	2.9	2.2	2.6	2.3	2.8

Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。
感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。
不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。
令和3年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。
スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご活用ください。
（業務内容）
　耐震診断報告書の審査、評価
　耐震補強計画案の審査、評価　等
（対象建築物）
　公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
（会員特典）
　申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和4年度建築士定期講習

5/31、7/27、8/19、9/15、10/20、11/18、12/16、1/19、2/7、3/2　CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成31年度・令和元年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。
▼対面講義
日程・会場・定員
　5/31（火）　大阪国際会議場　200名
　7/27（水）　大阪YMCA会館　100名
※8/19（金）　大阪国際会議場　200名
　9/15（木）　大阪府建築健保会館　50名
　10/20（木）　大阪YMCA会館　100名
※2/7（火）　大阪YMCA会館　100名
▼DVD講義
日程・会場・定員
※11/18（金）　大阪府建築健保会館　50名
※12/16（金）　大阪府建築健保会館　50名
　1/19（木）　大阪府建築健保会館　50名
※3/2（木）　大阪府建築健保会館　50名
時間　9：15～17：00（各講習日共）
受講料　12,980円（消費税含。事前振込）
申込方法
　申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。（平成31年度・令和元年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。）
　ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。
受付場所（送付場所）
　※印の日程　大阪府建築士会事務局
　※印以外の日程　大阪府建築士事務所協会事務局
注）各回定員に達し次第、受付を終了します。
▼建築技術教育普及センターHP
https://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teikikoshu/kteiki/kt-koshujisshi2021.html

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習5/26、8/25、10/27
更新講習6/22、2/22
CPD新規各5単位、更新各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2019年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。
▼新規講習（DVD）
日時　5/26（木）、8/25（木）、10/27（木）
　9：30～17：00
会場　本会会議室
定員　20名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込21,450円
　郵送申込22,000円
▼更新講習（DVD）
日時　6/22（水）、2/22（水）
　13：30～16：50
会場　本会会議室
定員　20名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込17,000円
　郵送申込17,600円
▼申込　日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

令和4年度監理技術者講習

（監理技術者以外の方も受講可能）
5/27、7/6、9/2　CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。
日程　5/27（金）、7/6（水）、9/2（金）
時間　8：55～17：00
会場　本会会議室
定員　各回20名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込み9,500円
　郵送申込み10,000円
申込　日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html

建築家　竹内誠一郎　講演会

「新たな町家再生のデザインを極める～若手建築家が創る民家再生デザインを探る～」
5/10　CPD2単位（予定）

現在、京都を拠点に活動し、別荘、ホテル、個人住宅などの建築プロジェクトに携わっていらっしゃる竹内誠一郎氏に「新たな町家再生のデザインを極める」というテーマでご講演いただきます。
日時　5/10（火）　15：00～17：30
会場　大阪府建築健保会館　6階ホール
受講料　建築士会会員3,500円
　後援団体会員4,500円
　一般5,500円

近畿建築士会協議会青年部会事業

「Beyond the hedge」

5/14　CPD第1部2単位、第2部3単位

アフターコロナを見据えて、世界は大きく変化しており、建築も例外ではありません。より複雑な課題に立ち向かうため、協業やデジタル化など今まで以上に時代に合わせて変化する必要があります。本事業は従来の講演会とは異なったアプローチから建築を考察するという企画です。
第1部　10：00～12：00
　建築集団チームラボアーキテクツによる、新鋭なる発想と着眼点から建築を見つめ直す講演会
第2部　14：00～17：00
　隣接する読書の森計画に関わった意匠、構造、施工、サインに至る様々なプロによるトークセッション
日時　5/14（土）　10：00～17：00
会場　松原市文化会館大ホール
参加費　建築士会会員1,500円
申込締切　5/12（木）

令和4年度定時総会のご案内

5/18

令和4年度定時総会を下記の要領で開催いたしますので、ご出席賜りますようお願い申し上げます。本総会が成立するためには、総正会員の1/3以上のご出席（委任を含む）が必要となります。正会員様がご欠席の際は、委任状裏面の出欠票にご署名いただいて必ず本会にご返送ください。委任状、議案書は本号に同封しております。準会員・特別会員・賛助会員様は、定時総会の議決権はございませんが、式典・表彰式、記念講演会にご参加をお願いいたします。
なお、懇親会は、新型コロナウイルス感染防止対策により中止いたします。
日時　5/18（水）
会場　KKRホテル大阪
　大阪市中央区馬場町2-24
スケジュール
　定時総会　14：00～15：00
　式典・表彰式　15：15～16：30
　・来賓祝辞拝受
　・名誉会員称号授与・栄誉会員表彰・永年会員表彰、建築士会CPD制度表彰
　・第65回大阪建築コンクール表彰
　・第14回建築人賞表彰
　70周年記念講演　16：45～17：45
　・講師　香山壽夫（東京大学名誉教授/香山建築研究所会長）
　・テーマ「建築は、人と人をつなぐ、社会の言葉－美しく、大切に作りたい－
展示　第65回大阪建築コンクール受賞作品パネル
　第14回建築人賞受賞作品パネル

建築士の会 南河内&いずみ野合同

旧倉庫からのコンバージョンオフィス「ポートフォリオ」と「ぼっかんさん」・貝塚寺内まちあるき見学会

5/28　CPD3単位

南海電鉄が長年使用した築50年以上の旧倉庫をコンバージョンしたコワーキングスペース「ポートフォリオ」について、その経緯や事業内容を事業者に講演していただき、施設を見学します。
また貝塚御坊願泉寺（ぼっかんさん）を中心とした「貝塚寺内町」は国登録有形文化財の件数が府下トップであり、講師とともにその古い街並みを歩き、近世町家を訪ね、地域の歴史を学びます。
日時　5/28（土）
　13：15～　受付
　13：30～14：30　ポートフォリオ見学
　14：45～16：30　貝塚寺内町あるき
会場　南海本線貝塚駅前「ポートフォリオ」
　貝塚寺内町「まちの駅・なかんちょ」他
定員　30名（定員に達し次第締切）
参加費　会員・一般1,000円
　学生500円（学生証提示による）

建築士の会 北摂・日本建築学会近畿支部共催

大阪大学箕面キャンパス見学会

6/4　CPD2単位（予定）

大阪大学箕面新キャンパスは2021年4月に開学しました。同年5月に箕面市立船場図書館・生涯学習センターが開館、8月には箕面市立文化芸能劇場もオープンしました。箕面船場では新たなまちづくりが動き続けており、学術・文化・芸術・子育てのまちとしての期待がさらに高まっています。
さてこの度、建築やまちづくり分野における世界的な環境認証制度であるLEEDにおいて我が国初のLEED-ND認証を取得した大阪大学箕面キャンパス見学会を実施します。また、建設から移転までの6年に渡る計画プロセスの講演を併せて実施します。

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 http://www.aba-osakafu.or.jp/
メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

日時　6/4（土）　13：30〜16：30
会場　大阪大学箕面キャンパス見学会
　　大阪府箕面市船場東3丁目5-10
講師　吉岡聡司（大阪大学サステイナブルキャンパス
　　オフィスキャンパスデザイン部門准教授）
定員　45名（定員に達し次第締切）
参加費　会員1,000円　会員外1,500円

歴史的建造物をめぐる動向
〜行政による取り組みと民間の動き〜
6/20　CPD2単位（予定）

歴史的建造物をテーマに、京都大学大学院の中嶋節子教授を講師に迎え、公共建築における近年の事例や民間の動きなどの紹介を通じて、今、何が目指されているのか、今後の展望などをお話しいただきます。
日時　6/20（月）　18：00〜20：00
会場　本会東会議室
定員　40名（先着順）
参加費　会員1,500円　会員外2,000円
　　令和2・3年建築士合格者会員無料、
　　令和2・3年建築士合格者会員外1,500円
講師　京都大学大学院 人間・環境学研究科教授
　　大阪府建築士会副会長　中嶋節子

建築相談委員会 住宅を設計する仲間達分科会企画 講演＆交流会
建築設計事務所の仕事
6/22　CPD2単位（予定）

TVや雑誌など、さまざまなメディアで発信を続けておられる建築家の守谷昌紀氏をお迎えし、仕事への取り組みや向き合い方、活躍の場を広げる手法、何よりどうやって仕事を獲得してきたかなど、普段は聞けない裏話も含めて丸ごとお話しいただく企画です。
建築士の資格を取ったばかりの方や、いつか独立を考えている建築士の方はもちろんのこと、仕事の展開を図りたい設計事務所の方にとっても、ヒントに出会う機会になるかもしれません。不安や疑問に本音でお話しいただきます。気軽にご参加ください。
日時　6/22（水）　18：30〜20：00
会場　本会東会議室
講師　守谷昌紀
　　㈱一級建築士事務所アトリエm代表
定員　25名（定員に達し次第締切）
参加費　会員1,000円　会員外1,500円

建築士の会 南河内
建材屋さんの話/プレカット工場見学/加賀屋新田会所跡見学会
6/23　CPD4単位（予定）

大阪住之江区平林にある都市型プレカット工場、構造計算、構造図、プレカットの一貫製作プレテック㈱と加賀屋新田会所跡の見学会です。
日時　6/23（木）
　　9：45〜　受付
　　10：00〜12：00　プレカット工場見学
　　13：30〜15：30　加賀屋新田会所跡見学
定員　30名（定員に達し次第締切）
参加費　会員500円　会員外1,000円
　　学生無料（学生証提示による）

＜創立70周年記念シンポジウム＞
水都大阪の未来を拓く 在宅福祉とウォーターフロントの革新
7/1　CPD6単位

2025年の大阪・関西万博を迎えるにあたり、大阪の未来を考える契機としてシンポジウムを開催いたします。
＜1部＞建築士が住宅建築に関わっていく中で、機能性に加えて居心地等を重視した福祉施設の在り方を考え、これからの在宅福祉と建築の連携を考えます。
＜2部＞大阪は淀川河川敷整備やまちなかの水辺空間などが進行する中、水運など水辺の利用に関するウォーターフロント活用の変革を考えます。
両シンポジウムによって、建築士が市民に何を示すべきかを発信したいと思います。
日時　7/1（金）　10：00〜17：00
会場　大阪工業大学梅田キャンパス
　　OIT梅田タワー常翔ホール
定員　300名
参加費　会員2,000円　会員外3,000円
　　学生無料

2022年版会員名簿の掲載事項について

8月号に同封予定の会員名簿につきましては、掲載事項が①氏名②勤務先名③勤務先住所・電話・Fax④建築士級別（正会員のみ）となっております。
つきましては、
A.氏名以外（②〜④）を掲載しない。
B.連絡先が自宅のみのため、③に自宅の連絡先を掲載する。
C.氏名を含め一切掲載しない（ホームページの名簿からも削除）。
のいずれかを希望される場合は、5/20（金）までにFaxまたは郵送で事務局までご連絡下さい。（既にご連絡済の場合は不要です）。

その他のお知らせ

令和4年度まちづくり初動期活動サポート助成
（大阪府都市整備推進センター）

大阪府域において地域住民が主体となった「まちづくりに係る初動期の活動」を支援するため、（公財）大阪府都市整備推進センターが助成を行うものです。
事前相談　4/11（月）〜5/27（金）
　　（土日祝日は除く）
時間　9：30〜12：00　13：00〜17：00
※相談にいく日時等は事前にご連絡ください。
応募受付期間　5/6（金）〜6/3（金）
　　（土・日は除く）
時間　9：30〜12：00　13：00〜17：00
※申請受付の際に、活動内容についての概要説明をお願いしますので、必ず事前にご連絡ください。
詳細は、同センターのHPをご覧ください。
問合　（公財）大阪府都市整備推進センター
　　Tel.06-6262-7713
　　HP https://www.toshiseibi.org/

WEB講習会
SDGsから考えるパブリックトイレ
〜衛生性・多様性配慮やバリアフリー法ガイドライン改正について〜
5/12　CPD1単位（予定）

最近、テレビや広告などでさらに目にすることが増えた「SDGs」。
今、世界の国々でさまざまな取り組みが展開されており、2025年大阪・関西万博においてもSDGs達成への貢献をめざしています。
TOTOもまた、SDGs達成に貢献することを企業としての重要な役割と捉え、事業やCSR活動を通じてさまざまな取り組みを行っています。
そこで今回は、SDGsをテーマにパブリックトイレの設備やトイレプラン、現場事例をご紹介します。
日時　5/12（木）　14：00〜15：00
会場　ZOOMによるWEB講習
定員　100名（定員に達し次第締切）
受講料　無料
申込期間　5/9（月）まで
申込方法
　TOTO HP「com-et」よりお申し込みください。
　https://www.com-et.com/jp/ttc_event-seminar/
　※「com-et」はTOTO株式会社の建築専門家様向けサイトです。
お問合せ　TOTOテクニカルセンター大阪
（担当：仲川）tto_technical@jp.toto.com

宅地地盤の品質評価に関する技術講習会
5/25

平成25年に建築・土木分野および不動産・住宅関連産業に従事する地盤技術者を対象に、「地盤品質判定士」の資格制度が創設されています。さらに、平成29年2月には、地盤品質判定士資格が国土交通省の「平成29年度公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術資格」の内、「宅地防災」の施設分野で登録されました。
このような背景から、宅地地盤の品質を評価するうえで必要な分野を網羅する講習会を企画しました。宅地防災に関する技術研鑽（地盤品質判定士資格の更新のためも含む）、また、地盤品質判定士検定試験（一次・二次試験）の受験対策に役立つ講習内容です。
共催　（公社）地盤工学会関西支部
　　（一社）地盤品質判定士会関西支部
日時　5/25（水）　8：55〜17：10
場所　Zoomウェビナー（オンライン開催）
参加費　本会会員7,000円
内容　住宅等（小規模建築物）の基礎
　　地盤の液状化
　　地質・地形・地盤の調査、土砂災害
　　擁壁の安定
　　盛土・切土の安定
　　宅地の造成、土砂災害に関わる法制度、技術者倫理
申込締切　5/18（水）
問合・申込　（公社）地盤工学会関西支部
　　Tel.06-6946-0393
　　URL http://www.jgskb.jp

被災建築物の応急危険度判定（養成）講習会
6/24、8/23、10/21、12/19、2/14
CPD各3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。
日程　6/24（金）、8/23（火）、10/21（金）
　　12/19（月）、2/14（火）
時間　受付12：30〜、講習13：10〜17：00
会場　大阪府建築健保会館6階ホール
定員　各回80〜150名
　　（新型コロナウイルス感染状況により調整）
受講資格　大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
受講料　無料
テキスト代　1,600円（税込）
申込・問合　一般財団法人大阪建築防災センター企画耐震部
　　Tel.06-6942-0190

90年の時を刻んだ白亜の新建築

木村産業研究所　一九三二年

文・写真＝松隈 洋［京都工芸繊維大学教授］

二〇二一年八月二日、青森県弘前市の木村産業研究所が国の重要文化財に指定された。前川國男（一九〇五〜八六年）の建物としては初の重文指定となる。この研究所は、一九三〇年四月、ル・コルビュジエのパリのアトリエでの二年間の修業を終えて帰国した前川が、その翌年から設計に着手し、一九三二年六月に起工、十二月に竣工する記念すべき第一作である。この時、前川はレーモンド事務所に勤め始めて二年目、二七歳の若さだった。今回の指定では、「ル・コルビュジエが示したモダニズム建築の概念を体現する、我が国最初期の建物として価値が高い」と評されたが、閑静な住宅地の中に突如出現した鉄筋コンクリート造の白く輝く建物は、さぞかし清新な印象を与えたに違いない。前川も嬉しかったのだろう。その証拠に、パリで同郷の前川と出会い、設計を依頼した理事長の木村隆三と前川がバルコニーに仲良く並ぶポストカードが、没後に所長室から発見される。誇らしげに写る前川には確かな手応えがあったのだと思う。というのも、二〇一六年に世界文化遺産に登録される師ル・コルビュジエのサヴォア邸（一九三一年）は、厳しい建設費の制約もあり、柱と梁と床スラブは鉄筋コンクリート造だが、壁はコンクリート・ブロックにモルタルを塗る在来の工法で仕上げられていた。実は、前川のアルバムには建設中の工事写真が残されており、その実態を目撃していたのだ。一方、そのわずか一年後に竣工する木村産業研究所では、壁も鉄筋コンクリート造の真正な本物の形で造ることができたのである。

二〇一三年にバルコニーが復元された

建物を前にした木村文丸氏
二〇〇六年五月一三日撮影

けれども、当時の前川には見えていなかったことがあった。それは、ル・コルビュジエの方法に倣ったモダニズム建築が、雪深い厳しい気候風土に晒された時にどのようになるのか、ということに対する想像力である。庇のない外壁とバルコニーは積雪によって傷み、スチール・サッシュは錆び、屋上庭園は漏水に悩まされてしまう。こうして、白く輝く建物は、自然の厳しさを前に、無残にも朽ち果てていくことになり、後年、バルコニーは撤去される。

おりしも、竣工から二年半が経った一九三五年五月二十七日には、弘前を訪れたドイツ人建築家のブルーノ・タウト（一八八〇〜一九三八年）が、旅日記の中に、木村産業研究所の印象を次のように書き留めた。

「街角にコルビージェ式の白亜の新らしい建物を見た。これは東京の建築家の設計によるものだが、よく視ると遺憾ながら施工の点でいかにもはいからである。これが木村研究所であって、（中略）お孫さんに当る人に会うことが出来た、フランス語を話す立派な紳士である。」（ブルーノ・タウト著、篠田英雄訳『日本美の再発見』岩波新書一九三九年）

「フランス語を話す立派な紳士」こそ、理事長の木村隆三に他ならない。ここにタウトが記した「はいから」という言葉には、どのようなニュアンスが込められていたのだろうか。その真意は、タウトが続いて高崎の実業家井上房一郎の車で訪れた長野県軽井沢町で、同じ旅日記に記した八月五日付の次の文章から見えてくる。

「井上氏の『ミラテス』軽井沢店で退屈していると、突然英語で『いかがです、タウトさん！』と声をかけた人がいる、建築家のレーモンド氏だ。同氏はコルビュジエの模倣者、模写者であり、在日建築家として成功を収めている。この国の嫌らしいコルビュジエ流行は、レーモンド氏に主たる責があると言ってよい。」（ブルーノ・タウト著、篠田英雄訳『日本―タウトの日記―一九三五〜六年』岩波書店一九七五年）

不遇のタウトにはレーモンドに対する嫉妬の気持もあったと思われるが、彼は、気候風土や伝統に根づかないモダニズム建築の危うさを感知していたのだ。そして、後年、このタウトの旅日記を手がかりに、その足跡を訪ね歩いた笹間一夫は、著書『今昔「飛騨から裏日本へ」＝タウトの見たもの』（井上書院一九七九年）の中で、前川との木村産業研究所に関する手紙でのやり取りについて、次のような証言を書き残している。

「ぶしつけとは思ったが、施工がはいからの意味を問う手紙を差し上げた。その返書によると、（中略）施工がはいからであるという意味はよく判らないが、今考えると寒冷地への対策が充分でなかったとあり、恐縮されていた。」

こうして、木村産業研究所の遭遇した厳しい試練こそ、私たちの知る前川國男という建築家をつくり上げていく原点であったことが見えてくる。

さて、筆者が現地を初めて訪ねたのは、前川事務所に勤めていた一九九九年七月のことである。偶然にも、弘前市庁舎の増築や斎場などを担当した仲邑孔一さんの下で市民会館の改修を手伝うことになり、折角の機会なので、弘前の前川建築群をすべて見ておこうと思い立ち、仲邑さんが市民向けに行う講演会に合わせて自費で同行したのだ。この時、木村理事長の甥の建物を守り続けていた木村文丸さんをご自宅に訪ね、当時の貴重な写真や資料を拝見する。そして、幸いにも、『建築文化』の日本モダニズム特集号（二〇〇〇年一月号）に、「木村産業研究所という出発点」と題して紹介する機会を得る。続く二〇〇三年には、選定委員の一人としてDOCOMOMO百選に選ぶことができ、二〇〇五年の生誕一〇〇年前川國男展では、使われていた家具を借用した展示も実現する。そんな中、木村さんには、「重文化を目標にしましょう」と勝手な願いを伝えたこともあった。残念ながら、二〇二〇年二月十六日に八五歳で亡くなられたので、喜びを分かち合うことはできなかったが、今年二〇二二年、竣工から九〇年の節目を迎えたこの建物の現在が、木村文丸さんの尽力と温かな人柄に支えられていたことを改めて書き留めておきたい。

SANEI 株式会社　www.sanei.ltd

SANEI

70

私たちは持続可能な開発目標（SDGｓ）に賛同します